

平成26年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(平成25年度分)

寒河江市教育委員会

目 次

I	寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1.	制度の概要及び目的	1
2.	点検・評価の対象事業	1
3.	点検・評価の方法	1
4.	学識経験者の知見の活用	1
II	教育委員会の活動状況	2
1.	教育委員会の開催	2
2.	教育委員会協議会の開催	3
3.	教育委員会会議以外の活動	4
III	施策の体系	5
IV	外部評価委員の意見	7
1.	総括	7
2.	施策ごとの意見	7
V	点検・評価対象事業一覧	11
	【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	13

I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について

1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律改正を受け、寒河江市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対する説明責任を果たすため、平成21年度から、前年度に行った事務事業について、3名の外部評価委員の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しております。

今年度は、平成25年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成25年度に実施した教育委員会所管の67事業のうち、事業規模及び市民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な48事業を対象に実施しています。

また、平成23年度からスタートした新第5次寒河江市振興計画において、今後5年間重点的に取り組む施策として7つの「重点プロジェクト」が設定されておりますが、このうち、教育委員会が関係する3つのプロジェクトの中の教育委員会が所管する3事業についても昨年に引き続き取り上げることにしました。

3. 点検・評価の方法

点検・評価の対象とした48事業については、「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

また、重点プロジェクトの事業については、関係する個別事業の評価を踏まえて、プロジェクトの着実な推進の観点から一定の評価を加えております。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験者を外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

寒河江市教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
真 木 吉 雄	山形大学大学院教育実践研究科 教授
佐 藤 彬 夫	有識者
小 松 たみ子	有識者

II 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催

開 催 日	区分	議案 番号	件 名
4月26日	定例	22	学校教育活動の諸課題について
5月28日	定例	23	寒河江市体育施設に関する条例の一部改正に対する意見の申出
		24	平成25年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
6月28日	定例	25	寒河江市社会教育委員の委嘱について
		26	寒河江市中央公民館運営審議会委員の委嘱について
		27	寒河江市図書館協議会委員の任命について
		28	寒河江市教育事務評価委員の委嘱について
7月22日	定例	29	平成26年度使用教科用図書の採択について
8月26日	定例	30	教育委員会の事務事業（平成24年度分）の点検・評価について
		31	寒河江市屋内多目的運動場に係る指定管理者の指定について
		32	平成25年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
9月24日	定例	33	寒河江市教育委員会委員長の選挙について
10月16日	定例	34	寒河江市指定有形文化財の指定について
11月26日	定例	35	実施計画（平成26年度～平成28年度）について

		36	平成25年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
		37	寒河江市体育施設に係る指定管理者の指定について
12月20日	定例	38	寒河江市立小中学校通学区域に関する規則の一部改正について
		39	寒河江市体育施設に関する条例の施行規則の一部改正について
2月19日	定例	1	寒河江市社会教育委員条例の一部改正に対する意見の申出について
		2	寒河江市青少年問題協議会設置条例の廃止に対する意見の申出について
		3	平成26年度教育費予算案に対する意見の申出について
		4	平成26年度教育行政の一般方針について
3月7日	臨時	5	平成26年度寒河江市立小中学校教職員人事異動内申について
3月24日	定例	(4)	平成26年度教育行政の一般方針について（継続審議）
		6	公民館長の任命について
		7	寒河江市立図書館長の任命について
		8	寒河江市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		9	平成26年度寒河江市教育委員会所属職員の人事異動について（追加）

2. 教育委員会協議会の開催

開催回数 4月22日 ほかに6回

協議案件

- ・ 慈恩寺国史跡指定に向けた取組について
- ・ 教育委員会事務事業点検・評価（平成24年度分）の内容について
- ・ 各課における事業等の取組状況について
- ・ 市長との懇談会について
- ・ 教育委員会制度改革について
- ・ 学校教育活動の諸課題について

など 計 7件

3. 教育委員会会議以外の活動

(1) 学校訪問

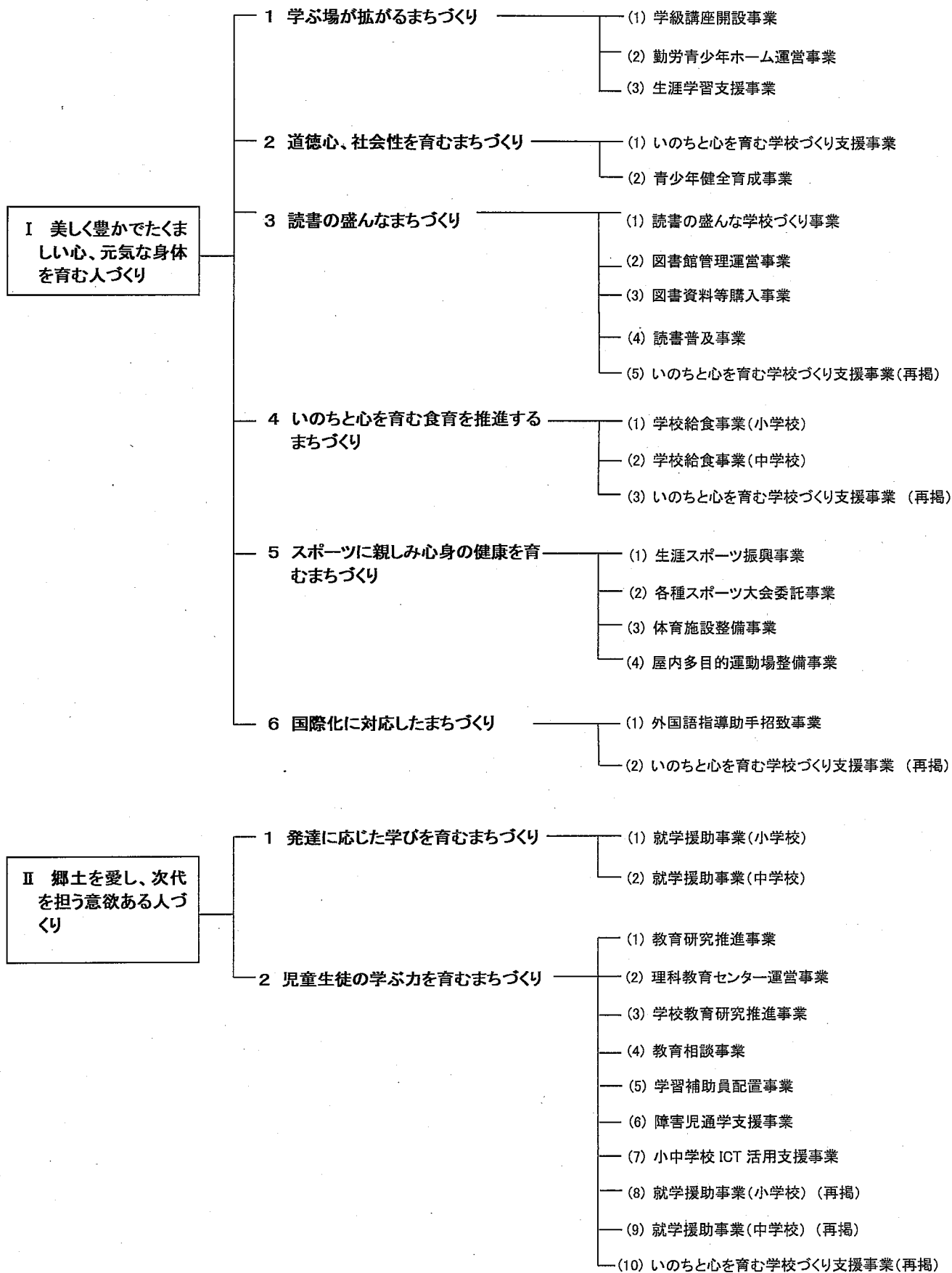
実施日	実施校	実施日	実施校
6月26日	南部小学校	11月14日	幸生小学校
7月3日	西根小学校	11月20日	白岩小学校
10月8日	高松小学校	11月26日	陵南小学校

(2) その他調査・研修活動

実施日	内 容
5月15日	小学校陸上競技大会
5月27日	教育委員と学校長の教育懇談会
6月5日	山形県市町村教育委員会協議会定期総会・研修会（山形市）
7月5日	小学校水泳競技大会
7月11日 ～12日	東北地区教育委員研修会（会津若松市）
8月9日	山形県教育委員大会・研修会（新庄市）
8月26日	西村山市町教育委員会連絡協議会総会及び教育委員研修会
9月26日	小中学校交歓音楽会
10月11日	公開授業研究（三泉小学校）
10月16日	市長と教育委員の懇談会

Ⅲ 施策の体系

寒河江市教育振興計画



III 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり

- 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり
 - (1) 市史編纂事業
 - (2) 文化財保護庶務事業
 - (3) 埋蔵文化財調査事業
 - (4) 郷土館保存事業
 - (5) 歴史文化ふるさと回帰事業
 - (6) 慈恩寺国史跡指定総合調査事業
 - (7) いのちと心を育む学校づくり支援事業（再掲）
- 2 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育むまちづくり
 - (1) 芸術文化振興事業
 - (2) 美術館運営事業

IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり

- 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり
 - (1) 社会教育活動事業
 - (2) 公民館活動事業
 - (3) 放課後子ども教室推進事業
 - (4) 公民館整備事業
- 2 家庭の教育力を高めるまちづくり
 - (1) いのちと心を育む学校づくり支援事業（再掲）
 - (2) 社会教育活動事業（再掲）
- 3 地域に開かれた学校、学びを高め合うまちづくり
 - (1) さがえっこ育みアクションプラン推進事業
 - (2) いのちと心を育む学校づくり支援事業（再掲）

V 開かれた教育行政の推進

- 1 教育行政に対する関心、意識の高揚
 - (1) 教育委員会事務局管理事業
- 2 教育環境の充実・整備
 - (1) 小学校管理事業
 - (2) 中学校管理事業
 - (3) 学校保健事業(小学校)
 - (4) 学校保健事業(中学校)
 - (5) 教育振興事業(小学校)
 - (6) 教育振興事業(中学校)
 - (7) 情報教育推進事業(小学校)
 - (8) 情報教育推進事業(中学校)
 - (9) スクールバス運行事業

IV 外部評価委員の意見

1 総括

- 事業ごとの「事業の評価」について、成果を中心に評価していること、疑問点についての説明がなされていることなど、前年度までの記載以上により具体的でかつ詳細に明記されているのが特徴的です。その結果、外部評価委員にとって実施状況が理解しやすいものになってきていると思います。
- 「今後の方向性」にも、方向性を拡充とした事業には平成26年度の予算額を明示するなどの新たな工夫が見られます。昨年度事業に対する評価であることから、これまでは今年度の事業にどのように反映されているのかが見えにくい状況でしたが、今年度予算額によってタイムラグがなく事業の継続性を捉えることができるようになりました。
- 『読書の盛んなまちづくり』や『歴史と伝統文化を活かしたまちづくり』など、寒河江市振興計画との関連性が示されており、寒河江らしさが伺える特徴的ともいえる施策が多くなっているようです。特色をそれぞれの施策に反映させようとした結果なのか、公民館事業等など内容面で類似の事業もいくつか見受けられ、内容が重複していると感じるところがありました。
- 昨年と同様に、各事業の内容評価や今後の取組等について説明を受け、理解を得ることができました。事業の企画・周知広報・安全面とそれぞれ考慮されながら、充実した取組をされており今後に向けて期待します。

新第5次寒河江市振興計画の重点プロジェクトとして位置づけられている、念願の慈恩寺国史跡指定が実現することになり大変うれしく、今後も文化財保護活動とともに県内外に情報を発信しPRしていただきたいと思います。

2 施策ごとの意見

(1) 生涯学習の推進・充実

【学級講座開設事業】

- 人口減少、高齢化に対応するために、若者の定住化に向けた構想や高齢者対策などはその自治体も欠かせない要件になってきました。新構想の「さくらんぼ大学推進事業」は、こうした問題にタイアップした事業と捉えることができます。20歳代以降の働く世代を対象にした事業や、70歳代以上の高齢者を対象にした事業など、それぞれの年齢層にマッチした魅力ある事業を企画することで、どの年齢にも対応した活動にしていけることが大切です。公民館のキャンパス化構想は、魅力づくりの面で大いに期待できます。
- 昨年度までは地区公民館を中心に実施されており、それなりに地域に根付いたと思いますし、参加者も顔馴染みができて楽しみながら成果もあげられたように感じました。ただ、今年度はキャンパス制にした結果、参加者の範囲がどのようなものになるのか、その結果を見ていく必要があると思います。

○ 各公民館で開設されている講座は、市民や子供達にとって魅力ある講座です。また、家庭教育講座は幼稚園や保育所の保護者会等で実施されていますが、受講者数から見ても子育てについて熱心さが感じられます。子供が成長していく中での悩みや心配等が多々出てきますので、それぞれの段階での講座なども実施することが大切なのかとも思います。

【生涯学習支援事業】

○ 生涯学習支援事業は、団体育成の上からもこれからも継続していただきたいと思えます。

【青少年健全育成事業】

○ 最近問題になっている危険ドラッグなど、新しい課題に対する学習の機会も大切だと思えます。

○ 長期休暇になりますと子供達にとって気のゆるみが生じてくると思えます。家庭と青少年育成推進員との見守りにより、青少年補導件数が少ないことを願いながら継続の評価をしたいと思えます。

【社会教育活動事業】

○ 視聴覚協議会のあり方が問題となっているようですが、今後とも会の果たしてきた役割が生きるような方向性を検討していただきたいと思えます。

【公民館活動事業】

○ 今年度から始まるさくらんぼ大学の事業と従来の公民館活動の両立が、各公民館にとって負担にならないようにしなければならないと思えます。特色ある活動を行うことは大事ですが、バランス良く企画されることを期待します。

【放課後子ども教室推進事業】

○ 市内の学区ごとの小学生を対象とした事業は、子供達にとって貴重な体験や経験ができる事業です。安全面を配慮しながら対応してほしいと思えます。

○ これからの活動のあり方として、「放課後児童クラブ」との連携等も視野に入れて検討することも考慮したらどうでしょうか。

【公民館整備事業】

○ 「チェリーナさがえ(屋内多目的運動場)」「グリバーさがえ(最上川寒河江緑地)」等の施設が南の地区に設置されました。これからますます高齢化が進む中で、寒河江中部小学区に地区公民館のような人々が集まりやすい施設を建設できればと思えます。寒河江駅南側の地区に生活している市民にとっても大変便利になり、高齢者にとっても生活しやすい地域になると思えます。

(2) 読書活動の推進・充実

【読書の盛んな学校づくり事業】

○ 学校にとって読書活動推進員の配置は、極めて有効に働くものと思えます。学校図書館の管理運営面に市立図書館の協力を仰ぐなど、学校図書館と市立図書館を一体化することで効率化も図られるようになると思えます。

【図書館管理運営事業】

- 図書館のブックポストを是非東側の壁にも身障者の利用しやすい高さに設置すれば、さらに利用者の利便性が図られると思います。

【読書普及事業】

- 各種事業は充実した内容であり、市立図書館としての取組みのよさを対外的にも大いにPRできるものと思います。

(3) 生涯スポーツの推進・充実

【生涯スポーツ振興事業】

- 公民館事業と同じく、各年齢層に対処したスポーツができるような環境整備が求められます。各地区公民館で行われている「ニュースポーツ出前教室」のように、ある程度分散化して高齢者が日常的にスポーツに親しむ活動の充実をさらに図るとともに施設の充実も求められていると思います。

(4) 特色ある学校づくりの推進・充実

【さがえっこ育みアクションプラン推進事業】

- 学校をより地域に開くようにすることは、地域づくりのためにも極めて重要なことです。本事業では、学校・保護者・地域・行政などが連携して一つの方向性を共有しながら取り組んでいますが、加えて幼保小中等の校種間の連携も大切です。そうした企画を具体化することで、ねらい達成に向けより有効に機能していくものと思います。市民への普及推進を是非お願いしたいと思います。

【いのちと心を育む学校づくり支援事業】

- 各学校の特色を生かし、家庭・学校・地域との連携を図りながら取り組んでいることに今後も大いに期待します。中でも、教育の基盤はそれぞれの家庭にありますので、家庭の教育力の向上に向けて今後も積極的に取り組んでいただきたいと思います。また、下校時の児童生徒の安全面の取組みについては、今後も地域の人と協力して継続されるよう希望します。

(5) 児童生徒の学ぶ力の育成

【教育研究推進事業】

- 校種間の縦の連携を強化するには、まず教員が互い校種を理解することが基盤となります。小中の教職員と一緒に研修できる場を、できるだけ多く設けるよう配慮することが大切です。できれば幼稚園や保育所の教職員も参加できるようになれば、より有意義な研修になると思います。

【外国語指導助手招致事業】

- ALTが幼児に対しても対応していることはとても素晴らしいことだと思います。これからも継続していただきたいと思います。

【障害児通学支援事業】

- 県立村山特別支援学校寒河江校の開校に伴い、子どものニーズにあった適正な就学指導が行えるよう、これまで以上に市と県が連携していく必要があると思います。

【小中学校ICT活用支援事業】

- 電子黒板の素晴らしさは十分に理解できますが、先生方が手軽に利用できるようにし一時の利用で終わることのないように研究を推進していただきたいと思います。

【学校給食事業】

- 地産地消と食育教育はとても大事な分野ですが、食物アレルギーに対する対応は、これからますます大変になることと思います。細分化されればされる程注意すべき分野になると感じています。

- 子供にとってバランスのとれた食育や十分な睡眠の必要性は理解していますが、実際は大変なことです。家庭との連携がより大事になってきます。また、食物アレルギーにも十分な対応がされていることはすばらしいと思います。

献立の中に伝承料理が入っているようですが、大人になってからも必要になると思いますので、是非続けてほしいと願います。また、調理に携わっている調理師から、野菜や肉等の大切な「いのち」をいただいていることのお話をこれからも子供達に継続してほしいと思います。

(6) 文化財の保存・活用の充実

【市史編纂事業】

- 慈恩寺の国史跡指定がなされたことを、高く評価します。今後、より一層幅の広い年齢層から慕われ誇れる慈恩寺になり、これからも未来に引き継がれる施策が実施されることを期待します。

(7) 教育行政に対する関心・意欲の高揚

【教育委員会事務局管理事業】

- 教育事務の点検・評価が、定例の教育委員会にも議題として取り上げられるなど事務局運営のPDCAサイクルに適切に組み込まれており、次に活かすための評価作業になってきています。

(8) 教育環境の充実

【小・中学校管理事業】

- エアコンの設置やトイレの洋式化などの設備改善は、子供にとっての行きたい学校づくりの一助となるものですが、維持費等の経費の増加などの課題も生じてきます。設備面のランニングコストが他の予算を圧迫することなどないように、計画的で釣り合いのとれた予算獲得と執行をお願いします。
- 学校の暑さ対策に取り組まれていることを評価いたします。特別教室とともに普通教室への計画的な設置も進められればと思います。
- 環境教育の一環として、プールへの太陽熱を利用した温水シャワーの設置などを検討してみることも大事だと思います。

V 点検・評価対象事業一覧

施策の区分	事業名	担当課	施策体系	頁
① 生涯学習の推進・充実	学級講座開設事業	生涯学習課	I-1-(1)	13
	勤労青少年ホーム運営事業	生涯学習課	I-1-(2)	15
	生涯学習支援事業	生涯学習課	I-1-(3)	16
	青少年健全育成事業	生涯学習課	I-2-(2)	17
	芸術文化振興事業	生涯学習課	III-2-(1)	18
	美術館運営事業	生涯学習課	III-2-(2)	19
	社会教育活動事業	生涯学習課	IV-1-(1) IV-2-(2)	20
	公民館活動事業	生涯学習課	IV-1-(2)	21
	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	IV-1-(3)	22
	公民館整備事業	生涯学習課	IV-1-(4)	23
② 読書活動の推進・充実	読書の盛んな学校づくり事業	学校教育課	I-3-(1)	24
	図書館管理運営事業	生涯学習課	I-3-(2)	25
	図書資料等購入事業	生涯学習課	I-3-(3)	26
	読書普及事業	生涯学習課	I-3-(4)	27
③ 生涯スポーツの推進・充実	生涯スポーツ振興事業	生涯学習課	I-5-(1)	29
	各種スポーツ大会委託事業	生涯学習課	I-5-(2)	30
	体育施設整備事業	生涯学習課	I-5-(3)	31
	屋内多目的運動場整備事業	生涯学習課	I-5-(4)	32
④ 特色ある学校づくりの推進・充実	さがえっこ育みアクションプラン推進事業	学校教育課	IV-3-(1)	33
	いのちと心を育む学校づくり支援事業	学校教育課	I-2-(1) I-3-(5) I-4-(3) I-6-(2) II-2-(10) III-1-(8) IV-2-(1) IV-3-(2)	34
⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	教育研究推進事業	学校教育課	II-2-(1)	35
	理科教育センター運営事業	学校教育課	II-2-(2)	36
	学校教育研究推進事業	学校教育課	II-2-(3)	37
	外国語指導助手招致事業	学校教育課	I-6-(1)	38
	教育相談事業	学校教育課	II-2-(4)	39
	学習補助員配置事業	学校教育課	II-2-(5)	40

⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	障害児通学支援事業	学校教育課	Ⅱ-2-(6)	41
	小中学校 I C T活用支援事業	学校教育課	Ⅱ-2-(7)	42
	就学援助事業 (小学校)	学校教育課	Ⅱ-1-(1) Ⅱ-2-(8)	43
	就学援助事業 (中学校)	学校教育課	Ⅱ-1-(2) Ⅱ-2-(9)	44
	学校給食事業 (小学校)	学校教育課	I-4-(1)	45
	学校給食事業 (中学校)	学校教育課	I-4-(2)	46
⑥ 文化財の保存・活用の充 実	市史編纂事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(1)	47
	文化財保護庶務事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(2)	48
	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(3)	49
	郷土館保存事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(4)	50
	歴史文化ふるさと回帰事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(5)	51
	慈恩寺国史跡指定総合調査事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(7)	52
⑦ 教育行政に対する関心・ 意識の高揚	教育委員会事務局管理事業	学校教育課	V-1-(1)	53
⑧ 教育環境の充実	小学校管理事業	学校教育課	V-2-(1)	54
	中学校管理事業	学校教育課	V-2-(2)	55
	学校保健事業 (小学校)	学校教育課	V-2-(3)	56
	学校保健事業 (中学校)	学校教育課	V-2-(4)	57
	教育振興事業 (小学校)	学校教育課	V-2-(5)	58
	教育振興事業 (中学校)	学校教育課	V-2-(6)	59
	情報教育推進事業 (小学校)	学校教育課	V-2-(7)	60
	情報教育推進事業 (中学校)	学校教育課	V-2-(8)	61
	スクールバス運行事業	学校教育課	V-2-(9)	62

重点プロジェクト事業

プロジェクト名	事業名	事業の主たる担当課	頁
「さがえっこ」すくすくプロジェクト	「さがえっこ育みアクションプラン」の推進	学校教育課	63
慈恩寺「悠久の魅力」向上プロジェクト	○ 慈恩寺の国史跡指定に向けた取組み ○ 慈恩寺の学術上の高い価値についての情報発信	生涯学習課	64
「さがえはつらつ」プロジェクト	「屋内多目的運動場」の整備	生涯学習課	66

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学級講座開設事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 1 学ぶ場が広がるまちづくり	予算科目	10 教育費
		項	4 社会教育費
		目	4 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	中央公民館及び各地区公民館で、市民の実生活に即した学びや学術及び文化に関する各種の講座等を実施し、皆が元気な地域づくり、まちづくりに資する。
事業内容	中央公民館及び各地区公民館で、年代ごとの学習要求と課題に対応した各種学級や講座を開設する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,812	補正額等		合計	2,812	決算額	2,127
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 少年少女講座	
・中央公民館	少年少女合唱団活動 小・中・高校生団員22名、毎週土曜日練習、各種演奏会出演、定期演奏会開催
・中央公民館	少年少女郷土史講座 4～6年生、夏休み中2回開催、土器づくり史跡巡り等を行った 延べ22名参加
・東部地区公民館	おもしろ発見隊 4～6年生、8月3回開催、カヌー体験、面白山登山、エコバッグづくり 延べ25名参加
・柴橋地区公民館	柴っ子アドベンチャー倶楽部 小学校3～6年生、7月～12月4回開催、カヌー体験、移動体験学習、門松づくり 延べ24名参加
・西部地区公民館	わんぱく仲間っ子 1～6年生 7月～1月 10回開催 マジックショー、ミニ屋台、いこいの森トレッキング、おもしろ理科実験、ダンボール工作、クリスマス会、雪遊びなど 延べ259名参加
(2) 成人講座	
・中央公民館	虹のむらやま見聞楽 5回講座 申込者実数75名、内1回が公開講座で約150名の入場者
・東部地区公民館	男の心得 4回 延べ92名参加 デジカメの心得 3回 延べ63名参加
・柴橋地区公民館	男性の実力(みりょく)アップ講座 3回 延べ60名参加 女性の美力(みりょく)アップ講座
・中央公民館	演劇講座 5回講座 申込者実数35名 3回 延べ60名参加
(3) 高齢者教室	
・中央公民館	生き生き講座 8回講座 申込者実数121名、延べ968名参加
・東部西根地区	若返りの泉 5回 延べ186名参加
・東部三泉地区	泉塾 5回 延べ200名参加
・南部地区	高齢者教室 4回 延べ112名参加
・柴橋地区	高齢者セミナー 3回 延べ130名参加
・高松地区	高齢者教室 3回 延べ300名参加
・醍醐地区	いきがい老人大学 3回 延べ140名参加
・白岩地区	高齢者教室 4回 延べ500名参加
(4) 女性教養講座	
・東部カルチャーカレッジ	4回 延べ100名参加
・南部地区若妻の集い	2回 延べ33名参加
・柴橋地区金谷エプロンスクール	5回 延べ150名参加
・高松地区婦人学級	2回 延べ100名参加
・西部ファミリースクール	2回 延べ45名参加
・醍醐地区若妻会手芸教室	1回 12名参加
・白岩地区婦人学級 基本コース	5回 延べ185名参加
同 生花コース	6回 延べ102名参加
(5) 家庭教育講座	
・幼稚園などと連携し、家庭教育力の充実を図るため親のための子育て講座を開催	
東部地区	4回 延べ840名参加
柴橋地区	2回 延べ80名参加
高松地区	3回 延べ190名参加
白岩地区	3回 延べ315名参加

5. 事業の評価

合唱団は毎週練習を行い質の高い演奏会が実施できた。また少年少女講座は、ものづくりなど工夫を凝らした楽しい講座が開かれた。中央公民館や各地区公民館で魅力ある講座を世代別に目的を明確にして開催し、多くの参加者を得、楽しんで受講していただき定員を超える申し込みの講座も多くあった。特に60歳以上の市民の学習意欲は高く参加者も多くなった。また、今回実施した演劇講座は、35名の受講者のもと、実技を交えた講座を展開し市民劇団立上げの基礎を築いた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>時代の流れとともに市民の学習ニーズも多様化している中、各地区公民館等の講座のあり方と合わせて市全体としての講座のあり方の見直しが求められていた。今年、これまで中央公民館と各地区公民館でそれぞれ行っていた成人・婦人・高齢者向けの各種講座を地区公民館の垣根を越えて一つにまとめ、それぞれの公民館をキャンパスとし7つの多様な分野の学部で構成する新たな市民講座「寒河江さくらんぼ大学」をスタートし、地域づくりや地域の活性化につながる講座内容の充実と提供を図っていく。</p> <p>(H26予算 学級講座開設事業1,538千円、さくらんぼ大学推進事業3,106千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	勤労青少年ホーム運営事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系 〔教育振興計〕 〔画〕	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 1 学ぶ場が広がるまちづくり	予算科目	10 教育費
		項	4 社会教育費
		目	3 芸術文化振興費

2. 事業の概要

事業目的	勤労青少年が余暇を利用してスポーツやレクリエーション活動に親しむ場の提供と、文化教養などの講座を開設することにより、勤労青少年の健全な育成と福祉の増進を図る。
事業内容	(1) 教養講座として、生花講座(月曜コース・水曜コース)の継続開催 (2) 料理教室の継続(前期・後期)開催 (3) 会員によるクラブ活動及び一般利用者による各種活動充実のための環境整備

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	193	補正額等		合計	193	決算額	193
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>(1) 講座・教室別利用状況</p> <p>① 生花教室(2コース)の開催 開催数…計84回(月曜39回 水曜45回) 参加者延べ539名 料理教室の開催 開催数…12回(前期6回 後期6回) 参加者延べ113名</p> <p>② クラブ活動利用状況 登録人数69名(男64人 女5人) 利用人数 2,070人 ・バスケットボール 77回 676人 ・フットサル 101回 923人 ・ソフトバレーボール 37回 251名 ・バンド 81回 220名</p> <p>③ 一般利用状況 使用回数 656回 利用人数 14,937人</p> <p>(2) 備品の老朽化に伴い、フードプロセッサー(1台)・ミキサー(2台)の調理器具を購入した。</p>
--

5. 事業の評価

<p>生花教室・料理教室とも、講師の先生の協力により季節にあった生花・料理を選定いただき、日程的にも無理なく参加できる内容で参加者の好評を得ることができた。また、団体登録を受けた利用者(スポーツ・バンド等のクラブ活動)についても、フットサルを中心に延べ利用者が増えており、勤労青少年が教養を身につけ体力づくりと集いの場の提供を図ることができた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>働く青少年が余暇を活用し、社会人としての教養や知識を身につけたり、体力づくりを行うための場所や学習の機会を提供することは、勤労意欲の向上のためにも大切である。市報等で募集を行い、引き続き公民館との一体的な利活用を図りながら、交流や有意義な余暇活動、教養の取得を図るために支援を継続していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	生涯学習支援事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	1 学ぶ場が広がるまちづくり		4 社会教育費
			10 生涯学習推進費

2. 事業の概要

事業目的	市民の自主的な生涯学習活動に対し、活動を支援することで市民の学習意欲の向上を図る。
事業内容	各種団体・企業等が自主的に実施する学習会や講座において、優れた技術識見を有する講師の招聘等、費用の一部を助成する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	800	補正額等		合計	800	決算額	608
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>様々な分野における生涯学習講座を実施した41団体に対して、1講座2万円を限度として支援を行った。</p> <p>(1) 事業件数:41件 参加者:延べ2,853名</p> <p>(2) 主な支援事業</p> <p>① 寒河江市植物愛好会「会員研修会」 25名参加</p> <p>② 三泉地区婦人会「婦人会研修」 67名参加</p> <p>③ 中部小学校PTA「PTA研修会」 250名参加</p> <p>④ みずき公民館「歴史講座」 30名参加</p> <p>⑤ 美原公民館「文化講演会」 50名参加</p> <p>⑥ 西根小学校PTA「PTA研修会」 600名参加</p> <p>⑦ 幸生さわやかクラブ65「健康教室」 42名参加</p>

5. 事業の評価

<p>各種団体の自主的な生涯学習に関する講座等を支援することにより、学習意欲が向上し、学びの環境づくりに資することができた。また、市報やHPなどで積極的にPRを行ったことで、前年度の27団体から41団体への増加に繋がった。</p>

6. 今後の対応等

方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>多様化する学習ニーズの把握に努め、積極的にPRを行い、市民が自主的に学びを上げられるよう、市民の生涯学習活動の充実を図っていく。</p>

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	青少年健全育成事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 2 道徳心、社会性を育むまちづくり	予算科目	10 教育費
			4 社会教育費
			7 青少年育成センター費

2. 事業の概要

事業目的	市青少年育成センターを中心に、関係団体と一体となって街頭指導や店舗等への巡回指導を実施し、青少年の健全育成を図る。
事業内容	青少年教育関係諸団体と連携を図りながら、市青少年育成センターによる街頭指導や環境浄化活動等を行う。 また、青少年育成推進員を委嘱して、青少年の健全育成と非行防止を図りながら、地域における運動を推進する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	488	補正額等		合計	488	決算額	349
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>市青少年育成センターの育成委員(民生児童委員及び主任児童委員)90名を4~5名のグループに分け、年間20回の夕刻街頭指導を実施した。また、青少年育成推進員11名を2~3名のグループに分け、年間11回の夜間街頭指導を実施した。 催事や夏休み期間を重点に、市内の繁華街やゲーム店、書籍店(ビデオ店やアダルトグッズ等の専門店)などを巡回し、青少年の戸外における生活実態の把握や声掛け運動及び有害図書や自販機の点検等を行った。</p>
--

5. 事業の評価

<p>地域の防犯協会や子ども見守り隊の活動と連携し、青少年を犯罪から守る活動に取り組んだことや、育成委員の街頭指導による地道な活動により、寒河江警察署管内においては、青少年補導件数の減少に繋がっている。(93件から70件前年比23件減)</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>市青少年育成センターを中心に、青少年教育関係諸団体との連携を図りながら市内の街頭指導を行うとともに、山形市などの関係団体とも連携を図り、市外の巡回指導へ参加するなど、青少年の健全育成と非行防止に向けて、さらに充実した取り組みに努めていく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 2 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育むまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 芸術文化振興費

2. 事業の概要

事業目的	優れた芸術文化に触れ、鑑賞する機会を持つことにより、市民の芸術文化に対する資質向上を目指す。
事業内容	市民の芸術文化活動への支援を行うとともに、市民文化会館の有効活用を図りながら幅広いジャンルの事業を展開し、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	11,456	補正額等		合計	11,456	決算額	10,701
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 市民文化会館自主事業の拡充	
① ミュージカル「アルプスの少女ハイジ」宝くじ文化公演	8月11日(日) 入場者696名
② 慈恩寺コンサート「悠久の里 慈恩寺 高橋竹山の世界」	8月24日(土) 入場者600名
③ 東儀秀樹全国ツアー公演	9月28日(土) 入場者701名
④ 幼児演劇教室オペラシアターこんにゃく座「オペラ『ピノキオ』」	10月16日(水) 入場者806名(幼稚園、保育園4・5歳児)
⑤ NHK全国放送公開番組「俳句王国が行く」	12月 8日(日) 入場者500名
(2) 実行委員会等市民文化団体への支援	
① 第45回市総合文化祭 市芸文協主催	10月25日(金)～11月 4日(月) 参加団体52団体
② 県美展寒河江移動展 実行委員会主催	10月 2日(水)～10月7日(祝) 入場者653名
③ 第16回寒河江市音楽祭『春を呼ぶコンサート』 実行委員会主催	3月 2日(日) 入場者800名
(3) 芸術文化団体の全国大会出場に対する助成	
① 第124回全国吟道大会(長野県)	10月20日(日) 寒河江吟友会19名
(4) 山形交響楽団に対する支援	
(5) 舞台づくり支援事業 (演劇や音楽などの振興を推進するため、地区内高校や社会教育関係団体に支援)	
① 演奏力等向上支援事業 高校4回 社会教育団体5回	② 発表会活動支援事業 高校2回 社会教育団体2回 一般1回

5. 事業の評価

多くの市民が芸術文化に触れることができるよう対象年代ごとに自主事業を展開した結果、全体で幅広い年齢層で多くの市民の参加を得、イベントも安全に運営を行うことができた。実行委員会形式で事業を行ったものもあり、市民参加の公演を実施することができた。情報誌ではPRを兼ねチケットのプレゼントも行った。本山慈恩寺の国史跡指定を推進するため、慈恩寺境内を会場にした事業では昨年に続き地元の実行委員会で行い、好評を得ることができた。また市民団体や芸術文化の各種団体の発表会等が多く開催され、支援することで市民の文化芸術活動の充実が図られた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	幅広い年齢層で多くの市民が年代にあった質の高い芸術文化を身近に楽しむことができるよう自主事業を開催するとともに、今後も市民の芸術文化に対する取り組みを支援していく。3年目の継続となる慈恩寺のコンサートも地元の実行委員会で行い、国史跡指定推進を盛り上げる。若い年代にも魅力ある公演等を企画し、市民の協力を求めながら多くの市民が鑑賞や発表できる事業を展開していく。また、設立された市民劇団の第1回公演を目指して支援していく。(H26予算 11,426千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	美術館運営事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 2 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育むまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 芸術文化振興費

2. 事業の概要

事業目的	優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、美術館を通して中心市街地の活性化を図るとともに、市民の芸術文化に対する関心と豊かな心を養い、寒河江のまちの品格を高める。
事業内容	運営にあたり専門員1名を生涯学習課に配置し、常設展示のほか、「市民ギャラリー」として特別企画展を含む数々の展示を行った。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	6,177	補正額等		合計	6,177	決算額	5,653
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

特別企画展実施状況
① 「村田研堂遺墨展」(7・8月) 来館者 919名 ② 真木強行日本画展(9・10月) 来館者 1,072名 ③ 市美術館開館5周年記念郷間正観展(10月) 来館者 662名 ④ アートツリーやまがたvol. 2(12・1月) 来館者 1,013名
ほかにも、「安孫子荻聲展～絵画の周辺『道具箱』編～(508名)」「土井沙織展アニマルパレード(855名)」「結城ななせとこどもアトリエ展(783名)」「慈恩寺スケッチコンクール(233名)」「こども芸術展(561名)」「西村山の若手作家展教員編(725名)」「齋藤勝利展～連続する風景～(570名)」等の企画展を開催 ※年間の入館者数、前年度 13,443名に対し、12,956名の実績を得ることができた。 収蔵棚・展示台等の購入により、収蔵スペースの確保や展示の幅が広がるなどした。

5. 事業の評価

「村田研堂遺墨展」等、地元在住のレベルの高い芸術家の展示に加え、「アートツリーやまがた」「慈恩寺スケッチコンクール」等、昨年より継続する展示では、ギャラリートークやワークショップを試みるなど、作品を楽しむ機会を提供できるよう心掛け、美術館に関心をもつリーダーの増加につなげることができた。鑑賞者のニーズに応え新進気鋭の若い芸術家の作品展を行うことで来場する年齢層にも広い幅が生まれた。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	鑑賞者のニーズに応え新進気鋭の若い芸術家を見据えながらより魅力的な展示会を企画していく。また立地条件を活かした気軽に立ち寄り、芸術的関心を高めることのできる美術館づくりに取り組む。児童生徒の鑑賞の機会や各種団体の利用を考慮し、来館者の増加と年齢層の幅の拡大につなげていく。 市制施行60周年にあたり、記念事業として企画展を開催する。(H26予算 8,414千円)

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	社会教育活動事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興計 画	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり 2 家庭の教育力を高めるまちづくり	予算科目	10 教育費
		項	4 社会教育費
		目	1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	各種団体及び各種事業への補助等により活動を積極的に支援し、地域の人々の社会教育活動の活性化を図る。
事業内容	西村山地区視聴覚教育協議会への負担金をはじめ、社会教育団体活動、家庭教育事業への支援を行う。 また、新成人が実行委員会を組織し、自分たちで成人式を運営することへのサポートを行い、仲間との連携協働の大切さを感じてもらう。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,799	補正額等		合計	1,799	決算額	1,616
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 成人式の実施(8月14日 新成人が実行委員会を組織し式典運営 参加者:360名/463名)</p> <p>(2) 家庭教育推進事業として「やまがた子育て講座」を実施(市内各小中学校で実施 9小中学校 参加者:798名) 「幼児共育ふれあい広場」を実施(市内各保育所で実施 5保育所 参加者241名)</p> <p>(3) 西村山地区視聴覚教育協議会については、教材・機材の利用促進に取り組んだ。また、今後の組織のあり方について検討した。</p> <p>(4) 青少年育成市民会議、公民館連絡協議会、子ども会育成連合会への事業費助成等の支援及び高校生ボランティアへの育成支援を行った。</p>
--

5. 事業の評価

<p>成人式は、新成人による実行委員により企画・運営され、式典は厳粛のうちに挙行された。また、アトラクションでは、神輿會のお祝い渡御や恩師との語る会が行われ、会場を大いに盛り上げるなど思い出に残る成人式で、連帯感や郷土愛が育まれた。</p> <p>子を持つ親の学習機会の充実を図るために実施した「やまがた子育て講座」「幼児共育ふれあい広場」については、参加しやすいように学校等行事に合わせて講座を開催し、内容も座談会やグループワーク方式を取り入れ、参加者から好評を得た。今年度から中学校を含めた13校での実施を予定していたが、全校での開催が実施できなかったことが今後の課題である。</p> <p>西村山地区視聴覚教育協議会については、市内の幼児・老人施設等への広報により、教材・機材の利用促進が図られた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>家庭教育講座(やまがた子育て講座)については、各学校との連携を密にし、市内全小中学校で実施できるよう努めていく。</p> <p>西村山視聴覚教育協議会については、事業規模を縮小し、3年以内の解散が決定された。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館活動事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系 教育振興 計 画	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり	予算 科目	10 教育費
	1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり		4 社会教育費
			4 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	社会教育・生涯学習の拠点として、市民の学習ニーズに即した講座や芸術文化、レクリエーション等の各種事業を実施し、生涯学習活動、公民館活動を推進する。
事業内容	地区公民館と分館の相互の連携を図り、自主的な活動や研修会等の各種事業を支援する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,862	補正額等		合計	3,862	決算額	3,583
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1)分館長、主事の委嘱(61分館の分館長・主事)</p> <p>(2)生涯学習活動推進員(15名)</p> <p>(3)公民館事業用具等の整備と活用(スポーツ用品、印刷機用消耗品)</p> <p>(4)まなびのふるさと推進事業</p> <p>① 社会教育関係各種団体等との共催事業の実施 26件 市公民館大会(市公民館連絡協議会) 2月2日(日) 150名参加 市子ども会育成委員研修会(市子ども会育成連合会) 11月24日(日) 70名参加 その他 地区子ども会事業、地区文化祭、地区民スポーツ・レク大会等</p> <p>② 分館連携事業の実施 4件 分館が地区公民館と連携し、地域力の向上やコミュニティ醸成のために実施 ・舟橋分館－舟橋地区夏祭り ・南新町分館－自主防災訓練、芋煮会 ・平塩分館－平塩夏祭り ・鹿島分館－第12回八郷地区民登山</p> <p>(5)各地区公民館運営会議等の設置 中央公民館運営審議会 8名 年1回 東部地区公民館運営会議 18名 年1回 南部地区 " 9名 年2回 柴橋地区 " 12名 年1回 西部地区 " 21名 年1回</p>
--

5. 事業の評価

<p>中央公民館及び地区公民館の運営会議での意見や各事業での市民からの要望の把握により事業を実施した。事業には多くの市民の参加が得られ、地域住民が主体となった公民館活動ができた。公民館連絡協議会と連携を図り、分館連携事業やふれあい交流事業を展開した。まなびのふるさと推進事業の活用を通して、分館・各種団体の自主的な研修や事業を支援しており、地域に根ざした事業の開催で地域の活性化が図られた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>地域活動の中核となる公民館が、それぞれに地域性を考慮した特色ある多様な活動を継続的に行えるよう支援し、地域力の向上やコミュニティの形成を図っていく。生涯学習の拠点施設としての役割を展開し、地域住民が集い、語り合い、住民相互の絆を高め合う場となるよう、また住民が主体となって各公民館の幅広い活動を実施していけるよう協力していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 10 生涯学習推進費
教育振興計画	1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり		

2. 事業の概要

事業目的	放課後や週末及び小学校の長期休業中の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、集団遊びや地域の人々との触れ合いを通して子どもの社会性を養い、さらに、地域の教育力の向上を図る。
事業内容	寒河江市放課後子どもプランの事業として、放課後や週末等に市内の全10小学校児童を対象に教室を開催。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,084	補正額等		合計	2,084	決算額	1,153
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>市内全10小学校児童を対象に5教室を開催。各教室にコーディネーターを配置し、教育活動推進員等民間ボランティアの支援を受け、様々な学びや遊び、地域独自の体験活動等を行い、各教室とも10日間開設した。夏休みおさらい学習や県産業科学館見学などの学習活動やカヌー・ゴムボート体験などの体験活動を行った。</p> <p>(1) コーディネーター 5名 (2) 教育活動推進員 26名 (3) 教育活動サポーター 40名</p> <p>(4) 参加者総数 323名 [内訳 寒河江小・西根小・三泉小 96名 寒河江中部小 80名 南部小 60名 柴橋小 43名 高松小・醍醐小・白岩小・幸生小 44名]</p>
--

5. 事業の評価

<p>断水の時期に実施した教室もあったが、各教室とも工夫をこらした事業内容とすることにより、学年間の交流が図られ充実した教室を展開することができた。また、モノづくりなどの内容を取り入れ事業内容を充実することにより、参加人数の増加(前年比49名増)に繋がり、子どもの社会性や地域の教育力の向上が図られた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	引き続き地域の大人との触れ合いや自然体験の機会を増やし、子ども達の社会性を高める事業を行うとともに、スタッフについては、中学生ボランティアの活用を検討するなど体制充実に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館整備事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	地域のコミュニティの核である分館の整備を支援し、機能充実を図ることさらなる地域力の向上を目指す。
事業内容	分館の新築・増改築、駐車場舗装及び耐震改修等の整備事業に対し、予算の範囲内で事業費の一部を補助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,500	補正額等	714	合計	2,214	決算額	2,177
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・新町公民館便所改造増築工事 事業費 4,727,500円 面積等 9.3㎡ 完成年月日 平成25年8月29日 補助金額 1,500,000円 ・元町公民館駐車場舗装工事 事業費 829,500円 面積等 241.9㎡ 完成年月日 平成25年12月14日 補助金額 241,000円 ・平塩公民館耐震補強設計業務委託 事業費 655,200円 面積等 278㎡ 完成年月日 平成26年1月15日 補助金額 436,000円

5. 事業の評価

<p>分館の水洗化及び駐車場の舗装を行い、地区民の利便性の向上が図られた。また、安心安全な地域活動拠点施設の整備を図るため、耐震補強設計委託を行い、耐震補強工事(平成26年度実施)に繋がっている。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>分館の耐震化診断について引き続き実施し、地元との話し合いを行いながら耐震化事業を推進していく。補助金交付規程の見直しを行い、バリアフリー改修についても補助の対象とし、また、これまで一律の補助割合であったものを、戸数により補助率を定め、地域負担の軽減を図る改正を行う。地域住民と連携を図りながら、今後も必要な箇所から計画的に整備を実施し、分館の機能充実を図っていく。(H26予算 7,065千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書の盛んな学校づくり事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 3 読書の盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	読書の盛んな学校づくりの推進を図り、読書好きな子どもを育成する。
事業内容	読書活動推進員を学校に配置し、学校における読書環境の整備を行うとともに、読み聞かせやブックトーク等の実践により国語科の授業を充実させる。また、「図書館管理システム」を有効に活用し、児童生徒の読書環境の充実を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	6,078	補正額等	△343	合計	5,735	決算額	5,677
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>【読書活動推進員の配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置人数 5名 ・配置校 ① 寒河江小・西根小・(陵東中) ② 寒河江中部小・三泉小 ③ 南部小・柴橋小(陵南中) ④ 醍醐小・高松小・(陵西中) ⑤ 白岩小・幸生小 ・業務内容 ① 児童生徒への読書指導及び図書選定の助言 ② 図書室の整備 ③ その他児童生徒の読書活動推進のための業務 ・勤務体制 年間220日程度、各小学校に曜日ごとに2～3日の勤務、中学校は、必要に応じて対応 <p>【読書環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館管理システムのサポート業務の委託
--

5. 事業の評価

<p>読書活動の推進は、「さがえっこ育みアクションプラン」の中でも重要な項目に位置づけている。読書活動推進員は5名で、1人が2～3校を担当している。ほとんどの小学校で2日以上勤務体制となったため、児童生徒が活用しやすい学校図書館づくりや、国語の授業での活用を充実させることができた。特に、国語の授業において、ブックトークや読み聞かせを読書活動推進員が行ったり、並行読書のための本を整理してコーナーを設置したりして、先生との連携を図ることができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>5名の読書活動推進員それぞれが2～3校を受け持つことで、学校図書環境整備だけでなく、国語の授業にもかかる時間を確保でき、活動の充実が図られた。当面はこの体制でさらなる活動内容の充実を図っていく必要がある。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	図書館管理運営事業	所管課・係	生涯学習課 図書館：業務係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	3 読書の盛んなまちづくり		4 社会教育費
			5 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	図書館の機能充実と良好な環境の維持を図るため、施設の保守管理や修繕等を行い、利用者の利便性の向上を図る。
事業内容	図書館施設の機能保持のため、空調機器保守点検業務、清掃や機械警備業務等を委託するほか、管理運営のために不可欠な物品等の整備、修繕等を行う。更なる利便性向上のため、市民のニーズに的確に対応した管理運営を行う。 また、車いす利用者等専用駐車場屋根の氷雪落下防止融雪ヒーター設置工事を行い、更なる安全性の向上を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	23,460	補正額等	1,626	合計	25,086	決算額	23,160
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<p>【保守点検、管理運営業務】 設備管理業務、機械警備業務、冷暖房設備保守、清掃業務、自動ドア保守、エレベーター保守、コンピューター保守、図書館情報システム賃借 外</p> <p>【工事、修繕】 ・車いす利用者等専用駐車場屋根氷雪落下防止融雪ヒーター設置工事 外</p> <p>【利用状況】 ・入館者数 116,421人(13,350人増) ・開館日数 328日(5日増) ・貸出者数39,924人(1,605人減) ・貸出冊数157,075冊(12,702冊減)</p>

5. 事業の評価

<p>多くの市民が利用する図書館の安全で快適な環境の提供に努めており、入館者の増加につながっている。平成25年度は、車いす利用者等専用駐車場屋根の氷雪落下防止融雪ヒーターを整備するなど、冬期間の安全性も向上し利用者から喜ばれた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	市民の要望に応えるべく、図書館機能の向上と安全で快適な環境の維持管理を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	図書資料等購入事業	所管課・係	生涯学習課 図書館・業務係
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 3 読書の盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 5 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	市民の生涯学習の拠点施設として、図書・視聴覚資料等を購入・整備し、図書資料及び図書館機能の充実を図る。
事業内容	一般図書、児童図書、視聴覚資料(音響・映像)、雑誌等について、「図書館資料選定要領」に基づき、公共図書館の役割を踏まえ、幅広いニーズに対応しながら計画的な整備を進める。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,450	補正額等		合計	8,450	決算額	8,047
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

【図書資料等の購入】			
図書館蔵書状況(平成26年3月末)			
① 一般図書	97,759冊(前年度比)	4,656冊減	「購入冊数 2,979冊」
② 児童図書	29,706冊(前年度比)	723冊減	「購入冊数 696冊」
③ 視聴覚資料(音響・映像)	3,979点(前年度比)	16点増	「購入点数 21点」
④ 雑誌等	2,773冊(前年度比)	85冊減	「購入冊数 917冊」

5. 事業の評価

<p>公共図書館の使命として、本館では、郷土の歴史や文化に関する資料、地域情報誌など幅広い資料の収集に努めるとともに、未就学児の利用増加に対応して児童書の重点整備に努め、図書館としての機能の充実が図られ、喜ばれた。</p> <p>また、図書資料の選定にあたっては話題の図書やベストセラー、各種受賞図書やリクエストなど、利用者からの要望も考慮しながら、且つ「図書館資料選定要領」に基づき購入を進めた結果、利用者の年齢層や職種等が更に幅広くなっただけでなく、個人利用者に加え乳幼児や児童を伴った家族連れの利用者が増加するなど、市民のための図書館として役割を果たすことが出来た。(蔵書数減は大幅な書庫整理によるもの。)</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	図書資料等の購入整備に対する市民のニーズを的確に把握し、自主的な読書活動や生涯学習活動を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書普及事業	所管課・係	生涯学習課 図書館・業務係
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	3 読書の盛んなまちづくり		4 社会教育費
			5 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習の拠点施設として、利用者にとって魅力ある図書館づくりを進め、読書の盛んなまちづくりを推進する。
事業内容	各層の読書活動の普及を図るため、定例事業や図書館自主事業等を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,424	補正額等	22	合計	2,446	決算額	2,437
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 定例事業

- ① ボランティアグループによる「おはなし会」の開催(4団体・約120回)
- ② 子どもに読ませたい本のコーナー等の設置(通年)
- ③ 「ブックテーマコーナー」等の設置(通年)
- ④ 新入生及び未登録児童の一斉登録事業の実施(215名)
- ⑤ 市子育て推進課、健康福祉課及びブックスタートサポーターとの連携で「ブックスタート事業」実施(12回)
- ⑥ 3ヵ月児健診時と子育て支援施設への出張による「絵本の部屋」開催(24回)
- ⑦ 展示ホールを活用した多様な展示会等を開催(約20団体等)

(2) 図書館自主事業

- ① 「春の夜の朗読と三味線の夕べ」の開催(5月19日 図書館 一般朗読者5名 50名参加)
- ② 「シリーズ山形の文学を探る」の開催(6月～10月・全5回 図書館ほか 延べ250名参加)
- ③ 「さくらんぼの都市さがえ全国俳句大会」の開催(7月7日 文化センター 150名参加)
- ④ 「さがえ図書館まつり2013」の開催(8月11日 図書館 約200名参加)
- ⑤ 「柳田邦男氏 読書講演会」の開催(10月6日 ハートフルセンター 230名参加)
- ⑥ 「MあんどB人形劇公演」の開催(10月25日 図書館 市内幼稚園・保育所ほか対象約400名参加)
- ⑦ 「朗読とアルトサクスの午後」の開催(11月17日 図書館 80名参加)
- ⑧ 安孫子荻聲ギャラリー常設展示

5. 事業の評価

定例事業では、展示ホールを活用した多彩な展示や季節感や話題性のある事柄を取り上げた「ブックテーマコーナー」などが利用者の好評を得た。また、未就学児親子と絵本を通じた接点やふれあいに重点を置いた「ブックスタート事業」やボランティアグループによる「おはなし会」の開催、「絵本の部屋」の開催などの活動の成果が、図書館の利用状況などにもみられた。

自主事業では、図書館まつりに加え、朗読会、講演会及び俳句大会の開催など多様な事業を展開し、多くの参加者から好評を得た。これらの事業によって、公共図書館としての役割である図書館をきっかけとした文化活動の広がりや深まりにも繋がった。

6. 今後の対応等

方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	読書の盛んなまちづくりを推進するため、魅力ある定例事業及び図書館自主事業等の開催が求められている。読書講演会、山形の文学を探るシリーズ化事業、さくらんぼ俳句大会の開催など、市民のニーズを的確に把握しながら対応していく。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ振興事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系 教育振興 計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり		5 保健体育費
			1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる社会の実現を目指す。
事業内容	各種スポーツ団体や寒河江市総合型スポーツクラブ「アスポーツさがえ」及び(一財)寒河江市体育振興公社との連携を図りながら、スポーツ教室や講習会を開催し、スポーツに親しむ基盤整備とスポーツ人口の拡大を図る。また、多目的水面広場において、少年少女カヌー体験教室や、新たに市民カヌー教室を実施した。さらに、屋内多目的運動場において、市民フェスティバルやフットサル教室等を実施した。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,665	補正額等		合計	1,665	決算額	1,527
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

より多くの市民がスポーツに親しむことができるように、各種スポーツ団体や寒河江市総合型スポーツクラブ及び一般財団法人寒河江市体育振興公社に事業の一部を委託し、様々なスポーツ教室や講習会等の実施を通して、多くの市民にスポーツの機会を提供した。

(1) 少年スポーツ活動育成事業(人数は延べ人数)
 【スポーツ教室】 ① 野球教室(1回 50名) ② カヌー教室(2回52名)
 【スポーツ大会】 ① 野球(2回8チーム) ② バレーボール(10チーム) ③ ミニバスケットボール(10チーム)
 ④ バスケットボール(16チーム) ⑤ 剣道(94チーム)

(2) ファミリースポーツ推進事業
 ① 市民スキー教室(1回 78名) ② ニュースポーツ出前教室(8回 344名) ③ 市民カヌー教室(2回 40名)

(3) 生涯スポーツ推進事業
 ① 市スポーツレクリエーション祭(1回 479名) ② 婦人ナイターバレーボール大会(6チーム)
 ③ 成人スポーツ講座(7講座 36回 564名)

(4) アスポーツさがえへの委託事業(人数は延べ人数)
 ① ちびっこスポーツ教室(16回 413名) ② 親子スポーツ教室(12回 172名) ③ スポーツ面白講座(1回 11名)
 ④ ジュニアスポーツ教室(20回 355名)

(5) (一財)寒河江市体育振興公社の自主事業 スポーツ教室の開催(人数は延べ人数)
 ① 少年少女柔道教室(20回 471名) ② 少年少女剣道教室(20回 213名) ③ 親子テニス教室(8回 52名) ④ 少年少女ソフトテニス教室(10回 96名) ⑤ バドミントン教室(8回 82名) ⑥ 水泳教室(6回 204名) ⑦ 弓道教室(10回 64名)

5. 事業の評価

様々なスポーツ教室を開催することにより、多世代の市民のニーズに応じたスポーツ活動に対応できており、十分に成果が得られている。3年目の事業である成人スポーツ講座は、5地区で実施され、種目の新設や講座数の増加などそれぞれのニーズに合わせた内容で行われた。また、総合型スポーツクラブや、(一財)寒河江市体育振興公社への委託事業についても、新たなスポーツ人口の獲得に貢献しており、期待した成果が得られている。さらに、屋内多目的運動場を活用した指定管理者による自主事業の実施により、新たなスポーツ人口の増加につながっている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	より多くの市民に、スポーツを親しむ機会と場を提供できるよう各団体等との連携をさらに強めるとともに、そのことを通して各団体の自主活動がさらに充実できるよう支援に努めていく。 最上川寒河江緑地多目的水面広場を活用し、カヌー協会や指定管理者等と連携して、カヌー競技の普及拡大を図るとともに、水面広場を活用したスポーツやレクリエーションの普及に努めていく。さらに、新たに完成した屋内多目的運動場を効果的に活用を図ることで、たくましい心、元気な身体づくりを推進していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	各種スポーツ大会委託事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	各種スポーツの普及振興と同時に競技力の向上を図る。
事業内容	寒河江市体育協会に各種スポーツ大会運営(19競技25大会)を委託し、各種スポーツの普及振興を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	654	補正額等		合計	654	決算額	654
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>市体育協会加盟団体に対し19競技25大会を委託実施し、それぞれが盛況を得た。</p> <p>(1) 寒河江市体育協会への委託事業(19競技・25大会)</p> <p>野球・陸上競技・バスケットボール・卓球・弓道・バレーボール・ソフトテニス・テニス・パドミントン・柔道・剣道・グランドゴルフ・インディアカ・ソフトボール・新卓球・ターゲットバードゴルフ・バウンドテニス・空手道・パークゴルフ等各種大会</p>

5. 事業の評価

<p>各競技団体へ事業を委託することにより、多種目にわたりスポーツの機会を提供し、多くの市民の参加を得た。種目も、競技スポーツからニュースポーツ、レクリエーションスポーツまで多岐多世代にわたり、市民の参加を得ることができている。ニュースポーツについては、成人層のスポーツ参加率の向上に寄与しており、期待した成果が得られている。さらに、各競技団体が自ら計画立案し事業を実施することで、競技団体の育成にもつながっている。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	委託先の意見もふまえて、各種スポーツの普及振興、競技力の向上のため、継続していくことが必要である。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	体育施設整備事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	一人でも多くの市民がスポーツに親んでもらうことを目的として、安全で快適な利用しやすい体育施設の整備を図る。
事業内容	利用者が安心して、快適に利用できるよう体育施設の整備・改修を行う。多目的水面広場の完成に伴い、ウォータースポーツの普及振興のために、カヌー備品等の整備を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	7,868	補正額等		合計	7,868	決算額	7,265
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

最上川寒河江緑地や市民体育館等について、次の工事及び備品購入を実施した。

① 寒河江市市民体育館地下油タンクライニング工事	1,344 千円
② 寒河江市市民体育館高圧受電設備接地抵抗等改修工事	809 千円
③ 寒河江市屋内多目的運動場アリーナ内時計設置工事	257 千円
④ カヌー等備品購入	3,937 千円
⑤ 寒河江市市民体育館合宿所厨房消毒保管機更新購入	672 千円
⑥ 剣道場等扇風機購入	120 千円

5. 事業の評価

最上川寒河江緑地や市民体育館について必要とされる改修工事や備品購入を実施したことにより、安全で快適な利用しやすい体育施設の整備、充実が図られたとともに、より多くの市民の施設の利活用の向上につながっており、期待した効果が得られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	多くの人が、安全で快適に施設を利用し、スポーツの盛んなまちづくりに貢献するため、利用実態の把握や利用者の御意見を基に、今後も計画的な整備に努めていく必要がある。(H26予算 47,370千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	屋内多目的運動場整備事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり	項	5 保健体育費
		目	1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	市民が年間を通じて屋外型スポーツを楽しめる施設と、災害時の物流拠点の整備を図る。
事業内容	冬季においても屋外型スポーツが楽しむことができ、市民が年間を通じてスポーツに親しめるとともに、災害時の支援物資保管施設としての機能を有する物流の拠点施設として、屋内多目的運動場の整備を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	229,671	補正額等	2,617	合計	232,288	決算額	232,284
(備考)							
※当初予算のうち226,991千円は平成24年度から繰り越したものである。							

4. 事業の実施状況

屋内多目的運動場整備について、次の工事及び備品購入等を実施した。

① 寒河江市屋内多目的運動場新築工事	224,280 千円
② 寒河江市屋内多目的運動場地盤改良工事	2,617 千円
③ 寒河江市屋内多目的運動場新築実施設計監理業務(監理)	2,355 千円
④ 寒河江市屋内多目的運動場競技用備品等購入	1,024 千円

5. 事業の評価

屋内多目的運動場が完成し、H26.1.12にオープンセレモニーを行って供用を開始した。オープンから3月末までの利用人数は9,227人で多くの方に利用されている。利用者からは好評を得ており、所要の目的が達成された。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	本整備事業は完成するが、今後利活用の促進を図るため、利用状況に合わせ備品等の計画的な整備等に努めていく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	さがえっこ育みアクションプラン推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 3 地域に開かれた学校、学びを高め合うまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	市教育振興計画の重点施策、並びに新第5次振興計画の重点プロジェクト「さがえっこすくすくプロジェクト」の一環として推進する「さがえっこ育みアクションプラン」の中核となる事業を実施する。
事業内容	「さがえっこ育みアクションプラン」推進本部を設置し、事業の周知啓発を行う。また、各小学校区に学校支援地域本部を設置し、地域で学校を支援するしくみづくりを行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,900	補正額等	9	合計	4,909	決算額	4,240
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>【推進本部の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長を本部長とし、学校、幼稚園・保育所、保護者、地域の代表、関係各課長等を構成員とする会議を年3回開催し、事業の推進方策等を検討 ・平成23年度に制定した「さがえっこの育み10か条」を指針とし、幼稚園・保育所、小中学校、各公民館・分館、市内の医院、事業所等にポスターを掲示するなどの啓発活動を実施 ・「さがえっこ育みフォーラム」の企画と開催 (広瀬恒子氏の講演「子どもと本の出会いづくり」・パネルディスカッション「本好きな子どもを育てるために」、参加者110人) ・国の委託事業「栄養教諭を中核とした食育推進事業」を受け、市内すべての小中学校で組織的に食育を推進してきた。 <p>【学校支援地域本部事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校区に学校支援地域本部を設置し、地域住民が学校を支援する学校支援ボランティア活動を推進 ※学校支援ボランティアの総数 1,970人 (23年度:1,623人)
--

5. 事業の評価

<p>事業3年目となる本年度は、指針となる「さがえっこの育み10か条」に基づき、3つの重点(あいさつ、読書、生活リズム・食育)を定め、各小中学校や幼稚園・保育所等で家庭や地域への働きかけを行いながら、実践を展開することができた。食育については、栄養教諭を中核としながら各学校で組織的に実践を行うとともに、保護者や地域への啓発活動や、幼稚園・保育所とも連携しながら共通理解を図る取組を積極的に展開した。</p> <p>また、学校支援地域本部事業についても、今年度はすべての小中学校に「学校支援地域本部」を設置し、学校支援ボランティア活動を展開した。学校支援ボランティアとしてかかわる地域住民や保護者が増え、活動の広がりが見られた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>アクションプランの指針となる「さがえっこの育み10か条」については、さらに多様な手段で周知・啓発を図っていくとともに、特に市民の認知度を高めるための工夫が必要である。また、学校支援地域本部については、今後も小中学校にかかわってくれる地域住民を増やしていくことが重要である。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	いのちと心を育む学校づくり支援事業			所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係	
施策体系 教育振興計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予 算 科 目	10	項 目	教育費	
	2 道徳心、社会性を育むまちづくり				教育総務費	
	3 読書の盛んなまちづくり				教育指導援助費	
	4 いのちと心を育む食育を推進するまちづくり					
5 国際化に対応したまちづくり						
II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり						
2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり						
III 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり						
1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり						
IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり						
2 家庭の教育力を高めるまちづくり						
3 地域に開かれた学校、学びを高め合うまちづくり						

2. 事業の概要

事業目的	市教育振興計画の重点施策並びに新第5次市振興計画の重点プロジェクト「さがえっこすくすくプロジェクト」の一環として推進する「さがえっこ育みアクションプラン」の実現のために、学校における取り組みの具現化を図る。
事業内容	子どもたちの学力や体力・道徳心の向上、基本的な生活習慣の確立など、学校が家庭や地域と連携して取り組む活動や、地域の実態に応じた特色ある教育活動を支援する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)							
当初予算額	3,400	補正額等		合計	3,400	決算額	3,400

4. 事業の実施状況

<p>各学校において、市の重点施策等を具現化した教育活動を進めるために本事業を活用している。具体的には、平成23年度から推進している「さがえっこ育みアクションプラン」に基づき、①食育推進活動、②子どもの生活リズムの確立を図る活動、③子どもの道徳心や社会性を育む活動、④読書の盛んな学校づくり活動などについて、各学校で家庭や地域と連携した取り組みを展開した。</p> <p>また、特色ある教育活動については、地域の自然や歴史、伝統文化を生かした取り組みを多くの小学校で実施した。</p> <p>(例)三泉小:さくらんぼ学習、醍醐小:ホタル・慈恩寺の学習、幸生小:四季の学校、田代小:大黒舞、南部小:ピオトープでの学習</p>

5. 事業の評価

<p>「さがえっこ育みアクションプラン」の学校における具現化という観点から、重要な事業となっている。各校とも地域の特性や児童生徒の実態を踏まえながら、効果的な事業を展開している。</p> <p>また、予算の執行については、各学校の事業計画書に基づいて配当しており、学校の主体的な活動が実現しやすい事業となっている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	市全体の教育課題や、学校独自の課題に主体的に対応していくために重要な事業であり、今後も、ねらいを明確にしながら事業を推進していく必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育研究推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	項	1 教育総務費
		目	4 教育研究所費

2. 事業の概要

事業目的	教職員の資質を向上させるとともに、児童生徒の学力の状況を把握し、学力の向上を図る。
事業内容	教育研究所を設置し、各研究部、研修部等における教職員の主体的な研修活動を行う。また、児童生徒の学力検査及び知能検査を実施し、結果の分析を行うとともに、これに基づく学力向上対策や授業改善を実践する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,209	補正額等		合計	5,209	決算額	4,793
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>【教育研究所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究紀要編集委員会 研究紀要「教育風土さがえ」第26号を発刊(会議2回) ○研究部 課題研究部「テーマ:確かな学力を育成するための教育課程の工夫と改善」(研修会2回) ○研修部 7部会(授業改善・生徒指導・食育・教育財政管理・情報教育・特別支援教育・読書活動)(研修会各2回) ○研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・全体講演会(7月31日) 有限会社 教育報道出版社 代表 梶浦真氏 「対話で育てる学びの力 -変わる授業技能と変わらぬ本質を問う-」 ・全員集会全体会(5月21日) 宮城学院女子大学 食品栄養学科 教授 平本福子氏 「今、なぜ食育が大切なのか？」 ・研修会(9月3日) 早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授 河村茂雄氏 「Q-Uを活用した一次、二次、三次対応」 ○学力向上対策委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・小2～中3における教研式NRT学力検査の実施(国語及び算数・数学:全学年、理科:小4以上、社会:小6以上、英語:中2以上)、小2、4、6、中1における知能検査の実施(4月) ・学力対策委員会の開催(5月・1月)と、報告書「つけたい力」の作成・配布 ・結果を受けて、各学校での個に応じた指導や授業改善の取り組み

5. 事業の評価

<p>研究部では「確かな学力を育成するための教育課程の工夫と改善」をテーマに研究を進め、3年目の今年度は、「小中9年間の連携を意図した教育課程の工夫・改善」について研究を深めた。</p> <p>また、各研修部においては、課題に応じた主体的な研修を実施した。食育に関する研修部会では、国の委託事業である「栄養教諭を中核とした食育推進事業」と連携して取組を展開してきた。研修の成果は、日々の授業改善等、各校における教育活動の充実に生かされている。</p> <p>児童生徒の学力の向上については、学力検査によって児童生徒一人ひとりの学力の状況を適切に把握し、日常の個に応じた指導に活用されている。また、学力対策委員会で作成した報告書「つけたい力」と小中学校の結果一覧を所員全員に配布しており、学習指導改善の取り組みに有効に活用されている。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>新たな教育課題への対応のための教育研究所の活動や、児童生徒の個々の学習状況を適切に把握するための学力検査の実施は必要な事業であり、今後も継続していくことが重要である。</p> <p>また、今年度県の事業で実施したQ-Uアンケートを市の事業としても実施し、学級経営の状況や学力検査との相関関係などの客観的なデータをもとに、結果を学級経営や授業改善、いじめの防止等につなげていくことが必要である。</p> <p>(H26予算 5,360千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	理科教育センター運営事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり		1 教育総務費
画			3 理科教育センター費

2. 事業の概要

事業目的	小中学校における理科教育の充実と、教員の資質向上を図る。
事業内容	寒河江市理科教育センターを設置し、理科教育に関する調査研究、研修、備品器具類の貸し出し、会報の発行等を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	150	補正額等		合計	150	決算額	140
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ○研修活動(参加状況:所員研修14名・小6年研修10名・小4年研修9名・小3、5年合同研修18名・一般研修12名・中学校研修4名) ○調査研究(指導案・小中理科大会要項の収集) ○備品器具の貸し出し(備品・教材貸出) ○会報の発行(必要に応じて随時発行)
--

5. 事業の評価

<p>本年度の研修では、各学年の指導内容から研修を深めたい単元を適切に選択して実施された。観察実験の工夫・児童生徒の興味関心喚起にかかる内容であった。また、これからの理科における授業改善について教員が知見を広めるために、授業研究会を一般研修会として実施した。さらに、すぐに授業で使える教材教具を提供し、各学校においてその教材教具を実際の授業で活用して理科の授業改善に資することができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	理科教育については、主体的な問題解決を促す事象提示や教材の開発、学んだことを活用できるものづくりなどの研修内容を充実させ、児童生徒の実感を伴った理解を図れるようにしなければならない。また、小・中接続を踏まえた体系的な研修や理科の学び方にかかる研修も重要であり、そのための予算の拡充が必要である。(H26予算 150千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校教育研究推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり		1 教育総務費
			3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒の学ぶ力を育み、確かな学力をつけるための研究を推進する。
事業内容	市内小中学校の中から、毎年2校に2か年ずつの研究を委嘱する。研究活動の成果は、市内の教職員が参集する公開研究発表会等において発信し、市全体の教育活動の向上に役立てる。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	400	補正額等		合計	400	決算額	400
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>寒河江市教育委員会研究委嘱校(兼:寒河江市教育研究所研究協力校)として2校を委嘱</p> <p>【三泉小学校】平成24～25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ:自分の考えをもち、生き生きと伝え合う子どもの育成～教科のねらいを達成するための交流のあり方をさぐる～ ・公開期日:10月11日(金) ・参加者数:279名(市内:249名、市外:3名、来賓・助言者等27名) ・国語科を中心に教科のねらいを達成するための子どもたちの交流のあり方について研究を行い、公開研究会において1年・3年・5年・特別支援学級で授業を公開し、参加した先生方と国語科の学びについて話し合いを深めることができた。また、これまで研究にかかわってくださった山形大学教職大学院三浦登志一先生から「言語活動を位置付けた授業づくり」という題で講演をいただき、本校の先生方はもちろん、市内の先生方の知見を深めることができた。 <p>【白岩小学校】平成25～26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ:伝え合い、ひびき合う授業をめざして ・次年度公開に向け、山形大学教職大学院森田幸智先生を講師とした研修会や授業研究会を実施し、子どもの学び合う姿とはどのようなものかを具体的に検証し、授業実践に役立たせることができた。
--

5. 事業の評価

<p>公開研究発表会には、市内すべての小中学校を含む多くの学校から参加者を得、研究の成果を共有することができた。公開研究発表会だけでなく、それに向けた校内の授業研究会や指導案作成検討会等も充実し、教員の資質向上が図られた。研究指定された学校以外の先生方も協力者としてかわり、指定校以外の先生の資質向上にもつながった。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	この事業により①市内各学校の研究の活性化を図り、児童生徒に確かな学力を身につけさせることにつながる。②市内教員同士で広く意見交流が行われることで、教員の授業に関する資質向上が図られる。③市内小中学校の教員が一堂に会するので、授業や児童生徒理解の共有化が図られる。そのために、今後も継続していくことが重要である。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	外国語指導助手招致事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 6 国際化に対応したまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	市内小学校の外国語活動や、中学校の外国語の学習を充実させるとともに、児童生徒の国際感覚を育む。
事業内容	外国語指導助手(ALT)を2名配置する。各小中学校への派遣により、授業やその他の教育活動の場面で、協働で授業を行うなど、指導の補助を務めるほか、教員の研修においても活用する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,036	補正額等		合計	1,036	決算額	952
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-----

4. 事業の実施状況

2名のALTを市内13小・中学校に学期ごと派遣計画を立て、小学校の外国語活動・中学校の外国語学習の支援を行った。	
ALTの派遣	<p><小学校> 1学期64回、2学期 67回、3学期 40回、計 171回</p> <p><中学校> 1学期26回、2学期 27回、3学期 18回、計 71回、その他、英語スピーチ大会への指導を実施</p> <p><その他> 寒陵スクール 1回、市内幼稚園・保育所等34回</p>

5. 事業の評価

<p>小学校においては、曜日ごとに派遣する学校を固定し、学校規模に合わせた回数も配慮して活用することができた。中学校においては、学習内容に応じて派遣日を希望してもらい、第1希望どおりに派遣することができ、有効に活用することができた。特に、小学校ではALTが5・6年の外国語活動における年間計画例を作成し、先生方に活用してもらった。さらに、1～4年の活動例も作成しALTとの交流活動に役立たせることができた。</p> <p>また、市内の幼稚園や保育所を訪問し年長児を中心に異文化交流活動を実施することができた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>英語教育に関する課題を解決するうえで、ネイティブによる音声に触れる機会を増やしていくことが大切になる。このことから、ALTによる支援は不可欠である。今後も小学校における外国語活動、中学校における外国語の学習充実に向け、継続していく必要がある。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育相談事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	不登校をはじめとする学校や保護者からの教育相談に対応するとともに、不登校児童生徒の学校への復帰を図る。
事業内容	教育相談室に教育相談員3名を配置し、学校教育や家庭生活全般にわたる相談に対応するとともに、不登校の原因把握に努める。 また、不登校児童生徒の学校復帰のための適応指導教室「寒陵スクール」を開設する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,279	補正額等	△ 634	合計	3,645	決算額	3,581
-------	-------	------	-------	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>【教育相談室の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員の配置：教育相談員3名(うち、訪問相談員2名) ・相談の件数： <学 校> 来室相談 72件、電話相談 118件、学校訪問 84件 <保護者> 来室相談 95件、電話相談 254件、家庭訪問 111件 <p>【寒陵スクールの概要】(教育相談員が運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍児童生徒：計9名(小学生0名、中学生9名) ・開設日数：212日(勤労青少年ホーム：201日 市立図書館：4日 フローラ・SAGAE：7日) ・その他：長期休業中の学習(4日)、遠足等の体験活動やALT活用学習、保護者懇談会(2回)を実施

5. 事業の評価

<p>年度末集計による年間30日以上欠席者は、小学生7名(前年6名)、中学生37名(前年31名)と、前年に比べてやや増えており、今後も引き続き未然防止を含めた取り組みが必要である。</p> <p>寒陵スクールについては、学校に復帰する、学校への登校が増える、志望する高校に進学する等の成果が全員に見られた。また、訪問相談についても、学校への登校や寒陵スクールへの出席につながったり、相談によって保護者の心の安定を図るなどの成果が見られた。</p> <p>教育相談については、保護者や教員からの相談に対し、福祉部局などの関係機関との連携も密にしながら、きめ細やかな対応を行った。</p>
--

6. 今後の対応等

方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	家庭に関わる問題は年々多様化しており、また、いじめに関わる問題についての対応も大切となる。今後とも福祉部局や外部の専門機関等と連携しながら、相談機能の充実を図っていく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学習補助員配置事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興 計画	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算 科目	10 教育費
	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり		1 教育総務費
			3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	個別指導が必要な児童生徒への支援を行い、教育活動の充実を図る。
事業内容	通常学級における個別の指導が必要な児童生徒や、特別支援学級における障がいの重い児童生徒等に対し、学習補助員を配置し、個に応じたきめ細やかな支援を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	17,073	補正額等	978	合計	18,051	決算額	18,051
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

【配置校】	寒河江小(3名)、寒河江中部小(2名)、南部小(1名)、西根小(2名)、柴橋小(3名)、高松小(1名)、醍醐小(1名)、白岩小(2名)、三泉小(2名)、陵東中(1名)、陵南中(2名)、陵西中(1名) <u>計12校(21名)</u>
【業務内容】	学級担任を補助し、個別支援が必要な児童生徒への学習・生活上の支援を行う ① 通常学級における、個別の支援が必要な児童生徒への対応 ② 特別支援学級における、障がいの重い児童生徒や多人数の児童生徒への対応
【勤務体制】	年間200日程度(授業日)、学校の実情に応じて4~6時間の勤務

5. 事業の評価

各学校の課題に応じて補助員を配置した。各学校が実情に合わせて、通常学級での補助・特別支援学級での補助を選択することにより、有効な活用がなされ、個別指導が必要な児童生徒の個々の学びが保障されている。また、障がいをもつ児童生徒へのクールダウン等の対応にあたってもらうなど、児童生徒が落ち着いて学校生活を送るための支援につなげることができた。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	通常学級における個別指導が必要な児童生徒は全体的に増加傾向にある。また、インクルーシブ教育の導入から、障がいをもつ子どもが通常の子どもたちの中で同じように活動をする場面が増えてくる。各学校の児童生徒の実態を正確に把握し、学習補助員を適正に配置するとともに、時間数の増加等、より充実した対応が必要である。(H26予算17,073千円)

インクルーシブ教育 共生社会の形成に向けて、障がいのある者と障がいのない者ができるだけ同じ場で共に学ぶ仕組み。障がいのある子どもが十分な教育を受けるための多様な教育の場、教育的ニーズに応じて準備することが大切とされる。

※H24.7中央教育審議会で提言され、文部科学省がH25.9.1学校教育法施行令の一部改正を行い、就学先決定の在り方を変更した。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	障害児通学支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計 画	II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	障がいにより自力による通学が困難で、保護者等の付添による通学ができない児童生徒に対し、タクシーによる送迎で通学を支援するとともに、保護者の負担軽減を図る。
事業内容	登校または下校のためのタクシー運行を市内タクシー会社に委託し、タクシー利用による通学支援を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,475	補正額等		合計	1,475	決算額	961
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-----

4. 事業の実施状況

1. 実施	登校または下校時の通学支援
2. 利用状況	小学校 : 5校、9名、延べ 626回 中学校 : 1校、3名、延べ 409回 合計 : 6校、12名、延べ 1,035回

5. 事業の評価

<p>心身に障がいがある児童生徒の就学については、保護者と十分な話し合いを行い就学の適正化が図られている。 家庭、学校及びタクシー運行業者が連携し、対象児童生徒に応じた連絡体制を整えたことにより、安全安心な通学機会の確保及び保護者負担の軽減が図られた。 平成24年度からは、保護者の要望により登校時か下校時かを選択できるようにしたことで利用拡大が図られ、通学支援利用者12名のうち毎日利用者が5名と利用率は極めて高い。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	保護者の負担軽減のため、登下校双方の支援を検討しながら今後とも本事業を継続する必要がある。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	小中学校ICT活用支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	ICT活用支援員が小中学校を巡回し、パソコン等ICTを活用した教育活動について支援を行い、小中学校のICT活用に係る教育等を推進する。
事業内容	小中学校におけるICTを活用した授業及び校務処理を円滑に進めるため、ICT活用支援員が小中学校を巡回し、児童生徒及び教職員に対する支援活動を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	7,000	補正額等		合計	7,000	決算額	6,668
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

ICT活用支援員2名が、延べ438日小中学校を巡回し、児童生徒及び教職員に対する支援活動を行った。

5. 事業の評価

<p>機器のメンテナンスやソフト活用の技術的支援など、定期的なICT活用支援は情報教育推進にはかせないものであるが、スキル面や時間的制約などの理由で、教職員による対応は困難な状況にある。</p> <p>そのため、2名の支援員が実施計画に基づき各学校を年間10回程度訪問して、機器の不具合の修復や各種アップデート作業などに対応し、更には教育研究所研修部会で実務研修を行うなどして教職員のICT活用技術の向上に努めた。</p> <p>また、教職員のICT活用に伴う準備などの負担軽減にも大きな役割を果たしている。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>教職員が常に最新の情報を入手し、準備から設定・操作、トラブル対応までを行うことには困難が伴うため、専門の担当者によるICT活用支援は不可欠である。県の助成は平成25年度をもって終了したが、ICT活用促進のため今後も継続していく必要がある。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学援助事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費
教育振興計	1 発達に応じた学びを育むまちづくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり		

2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護及び特別支援学級在籍児童の保護者(所得制限あり)に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該児童の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	11,595	補正額等		合計	11,595	決算額	10,719
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護児童就学援助費の支給	対象児童 : 158名	金額 9,519,540円
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童 : 40名	金額 1,199,413円

5. 事業の評価

雇用環境の低迷からの脱却がなかなか進まないなかで、経済的理由によって就学が困難と認められる児童が増加し、ここ数年、認定者数は160名前後で推移している。児童の就学の確保を図るため、学用品など就学に必要な経費について支援する本事業の意義は大きなものとなっている。 (H21.144名 → H25.158名)

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	保護者の経済的理由で就学困難と認められる児童及び特別支援学級在籍児童の就学機会の確保を図るため、対象世帯の経済状況を的確に評価し適正な就学援助を実施していく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学援助事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	1 発達に応じた学びを育むまちづくり	項	3 中学校費
	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	目	3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護及び特別支援学級在籍生徒の保護者(所得制限あり)に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該生徒の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	9,428	補正額等		合計	9,428	決算額	8,939
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護生徒就学援助費の支給	対象生徒 : 105名	金額 8,569,021円
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象生徒 : 8名	金額 369,300円

5. 事業の評価

<p>雇用環境の低迷からの脱却がなかなか進まないなかで、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒が、この5年間で4割以上増加している。これら生徒の就学の確保を図るため、学用品など就学に必要な経費について支援する本事業の意義は大きなものとなっている。</p> <p>(H21.72名 → H25.105名)</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>保護者の経済的理由で就学困難と認められる生徒及び特別支援学級在籍生徒の就学機会の確保を図るため、対象世帯の経済状況を的確に評価し適正な就学援助を実施していく必要がある。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育むまちづくり	予算科目	10 教育費
	4 いのちと心を育む食育を推進するまちづくり		2 小学校費
			2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	学校給食を実施することにより、児童の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う。
事業内容	全小学校において自校調理方式による完全給食を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	33,139	補正額等	234	合計	33,373	決算額	30,793
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 自校調理方式による完全給食の実施</p> <p>① バランスのとれた食事を提供するとともに、栄養教諭及び学校栄養士が食と健康の保持増進などの指導を行い、食と栄養に関する正しい知識の普及や食事のマナー、感謝の心を養った。</p> <p>② 学校給食を通して、地域の産業、経済、伝統や文化への関心を高めた。</p> <p>③ 小学校10校平均給食実施回数：188回</p> <p>④ 各種会議、研修会の開催 献立作成会議、調理師研修会(市内、市外)、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</p> <p>⑤ 給食用食器、配膳台等の更新</p> <p>⑥ 放射性物質検査の実施</p> <p>(2) 給食調理業務民間委託の実施 西根小学校、柴橋小学校及び高松小学校で調理業務の民間委託を行い、民間活力の導入により経費の削減を図った。</p>

5. 事業の評価

<p>衛生管理や設備点検等を徹底し、調理師の研修会を充実させることにより、年間を通じて安全安心な給食が提供された。栄養バランスのとれたおいしい給食が、緊急時の対応も含め安定して提供されたため、適切な栄養摂取による健康の保持増進や望ましい食習慣の形成、伝統的な食文化の理解につながった。</p> <p>調理業務を民間委託している学校についても、調理業務連絡調整会議を定期的に開催して、円滑な業務の遂行を図った。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>学校給食による食育の取り組みは今後ますます重要になっていくため、栄養教諭などによる指導のもと、食事の重要性や喜び、健康の保持増進の理解に努めていく。</p> <p>また、衛生及び安全管理を徹底し、更に充実した学校給食を常時提供できるようにしていく。</p>

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	学校給食事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育むまちづくり	予算 科目	10: 教育費
	4 いのちと心を育む食育を推進するまちづくり		3: 中学校費
			2: 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	中学校給食を実施することにより、成長期にある中学生に、安全安心で栄養バランスのとれた、おいしい食事を提供し、心身の健全な発達に資するとともに、それを生きた教材として活用し、食育の充実を図る。
事業内容	(1) 食材の調達に際しては、市内の納入事業、野菜生産者の組織化による安定供給および地産地消の推進を図る。 (2) 配膳業務を円滑に行うため、給食配膳員を配置し効率化を図る。 (3) バランスのとれた食事を提供するとともに、学校栄養士が食と健康保持の指導を行い、食と栄養に関する正しい知識の普及や食事のマナー、感謝の心を養う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	174,225	補正額等	309	合計	174,534	決算額	173,745
-------	---------	------	-----	----	---------	-----	---------

4. 事業の実施状況

<p>民設民営による給食センター方式で、中学校給食の調理・配送業務について市内の事業者と10年間の業務委託契約を締結している。</p> <p>また、JA及び市内の野菜生産組織との地場産野菜の生産・供給協定の締結や市内食材納入事業者の組織化により、地産地消の推進、給食用食材の安定供給体制の構築を行うとともに、地場産野菜の提供情報等を給食だよりで紹介した。</p>

5. 事業の評価

<p>(1) 民設民営での給食センター方式による民間のノウハウ等の活用や地元生産物の提供体制の整備等により円滑で効率的な運営体制を構築し、栄養バランスのとれた安全安心な給食を安定して提供した。</p> <p>(2) 調理師や担当職員等の研修会を通し、充実した学校給食の運営を行った。</p> <p>(3) JA及び市内の野菜生産組織との協定に基づく地場産野菜の生産・供給については、給食用農産物に関する打合せ会議を定期的に行い、円滑な業務の遂行を図った。その結果、地産地消の実施状況は、県産野菜が61.9%、寒河江産野菜が43.6%となっている。</p> <p>(4) 中学校給食運営委員会を年2回開催し、中学校給食の円滑な運営に資するとともに、生徒を対象としたアンケートを実施し、寒河江らしさあふれるおいしい給食の提供に努めた。</p> <p>(5) 野菜生産者と中学生の交流給食を実施し、生産者と触れ合うことで、地元農産物に対する理解と食に対する興味・関心をさらに深めた。</p> <p>(6) 放射性物質検査を実施し、食材等の安全を確認した。</p> <p>(7) 食物アレルギー対応についての検討を重ね、学校給食における事故を未然に防止し、安全安心な学校給食を行うため、マニュアル策定を行った。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>学校給食による食育の取り組みは今後ますます重要になっていくため、栄養教諭などによる指導のもと、食事の重要性や喜び、健康の保持増進の理解に努めていく。</p> <p>また、衛生及び安全管理を徹底し、更に充実した学校給食を常時提供できるようにしていく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	市史編纂事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 教育振興 計 画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算 科目 目	10 教育費
	1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり		4 社会教育費
			8 市史編さん費

2. 事業の概要

事業目的	市史編纂室に市史編纂専門員を配置し、旧家に残る古文書等歴史資料の収集、調査を行い、寒河江市の歴史と文化を後世に伝えていく。
事業内容	古文書等郷土資料の収集、解説、研究及び「市史」の編纂、執筆並びに市史関係書籍等の編纂、発刊を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	6,882	補正額等		合計	6,882	決算額	6,174
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 市史編纂委員会 10月2日 文化センター第1会議室 出席委員7名 発刊計画の策定等協議 (2) 市史編集委員会 3月14日 文化センター第1会議室 出席委員4名 民俗生活編の検討 (3) 市史「民俗・生活編」の原稿執筆 (4) 「みちのく慈恩寺の歴史」発刊 11月30日刊行 1,000部 (5) 郷土資料展の開催「長岡三十三観音展」6月25日～7月7日 会場:図書館ギャラリー (6) 歴史文化活動推進員による市内の念仏講・契約講等の調査</p>
--

5. 事業の評価

<p>市史編纂事業計画に基づき市史発刊の準備及び市史を裏付ける資料や文化財の調査のなかで、寒河江市特有の歴史文化を解明することができた。なかでも、市内の観音信仰などの調査成果を郷土資料展でいち早く市民に公開し、歴史文化学習に資した。これらの資料調査の活動によって、滅失・毀損しかかっている市内の歴史・文化資料が明らかとなり、貴重な古文書などが所有者から市に寄贈され、保存と活用が図られることとなった。 また、市史編纂活動の成果として、慈恩寺の歴史書の発刊を行い、市民の歴史文化への関心を深め、市の歴史を後世に伝えていくことにつながった。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	古文書や歴史資料等の廃棄、消失が進んでいることから、現在の市史専門員体制を維持し、地域の歴史資料を調査研究して後世に残し、それらの研究成果を市民に公表し、歴史・文化学習に資していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化財保護庶務事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 教育振興 計 画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	文化財の保存及び活用のため、調査研究等を行い、市民の文化の向上に資する。
事業内容	(1) 文化財保護委員会の開催（文化財保護委員 7名） (2) 文化財調査・天然記念物管理 (3) 文化財に対する啓発 (4) 国特別天然記念物カモシカの救出及び死体処理

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	266	補正額等		合計	266	決算額	196
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>(1) 文化財保護委員会の開催(10月2日、中公第2研修室、委員7名)</p> <p>(2) 市指定文化財の上申(『伊勢物語 全』1件)</p> <p>(3) 文化財調査(市指定候補、安孫子正平氏寄贈こけしほか)</p> <p>(4) 市内の観音講等調査の実施(歴史文化活動推進員の基礎調査に基づく詳細調査)</p> <p>(5) ふるさと歴史探訪『大江氏ゆかりの寺院を巡る』(10月26日、参加者20名)</p> <p>(6) 白岩城歴史学習会・白岩城シンポジウムの実施(10月12日、参加者50名) ・白岩城現地視察 10月13日 参加者30名</p> <p>(7) 高屋今井家寄贈刀剣展示会(5月15日)</p>
--

5. 事業の評価

<p>文化財保護委員会では、市指定文化財1件の指定審議を行い、市の文化財の価値認定と保存が図られた。さらに、指定文化財につながる資料や歴史資料の調査を積極的に実施し、寒河江の歴史的・文化的価値の発掘と保存に寄与した。</p> <p>市民を対象とした歴史探訪事業は市民の人気を博し、歴史学習と文化財保護に対する市民の要請に適切に対応することとなった。</p> <p>白岩城についてシンポジウムと現地学習会を実施したが、地元白岩地区民を中心に多くの参加者があり、関心の高さが窺えるなど効果が得られた。</p> <p>その他指定文化財保護事業として、高屋今井家寄贈刀剣展示会を実施し、市民の文化財鑑賞に資することとなった。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	指定文化財の周知活用を図るため、より充実した学習会・シンポジウムを開催するなど、市民の文化財に対する関心を高めるための取り組みに努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	埋蔵文化財調査事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 教育振興 計画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算 科目 目	10 教育費
	1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり		4 社会教育費
			9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	文化財の調査・保存を図るとともに、歴史と文化を尊び文化財に対する市民の意識の高揚を図る。
事業内容	文化財保護法に基づき市内遺跡の試掘調査及び記録調査を行い、報告書を作成するとともに、「埋蔵文化財フェア」を開催する。慈恩寺国史跡指定を推進するため文化庁調査官を招いて慈恩寺調査検討委員会を開催し、慈恩寺国史跡意見具申書に必須の「慈恩寺総合調査報告書」を発刊する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,252	補正額等		合計	3,252	決算額	3,053
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ○ 慈恩寺国史跡指定関係遺跡ほか3調査を実施したほか、埋蔵文化財に対する市民の理解を深めるため、市美術館を会場に「埋蔵文化財フェア」を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 慈恩寺上の寺遺跡発掘調査(国史跡指定関係) 7月1日～19日 (2) 慈恩寺蓮池跡発掘調査(国史跡指定関係) 10月28日～30日 (3) 埋蔵文化財フェア「土偶の世界」8月8日～27日 市美術館 期間中見学者800名 (4) 講演会 8月8日 阿部明彦山形考古学会常任幹事 フローラSAGAE 参加者40名 ○ 文化庁調査官を招聘し慈恩寺調査検討委員会を開催した。9月25日、その他委員会12月まで5回、委員5名『慈恩寺総合調査報告書』を発刊し、慈恩寺国史跡指定意見具申書の提出(1月29日)の添付資料とした。
--

5. 事業の評価

<p>国庫補助を効率的に活用することで、市内開発と埋蔵文化財保護との調整に資することができた。当該年度においては、国史跡指定の候補となる慈恩寺上の寺遺跡・蓮池跡の調査を実施し、埋蔵文化財の保存と解明、国史跡指定の資料等に資すること大であった。</p> <p>また、埋蔵文化財フェアでは、舟形町西の前遺跡出土土偶が国宝となったこともあり、そのレプリカ展示をメインにし、寒河江・西村山各地等出土の土偶を展示し、市民の考古・歴史学習に資した。多くの市民が見学に訪れ、十分に事業の効果が得られた。</p> <p>慈恩寺国史跡指定に関して、国庫補助事業である本事業を通して文化庁調査官を招聘して調査検討委員会を開催、指定に向けた指針を得、総合報告書を作成することができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	埋蔵文化財に対する市民の関心も高く、調査・保存とともに、その遺跡の価値等について、市民に広く周知していく必要がある。また、慈恩寺国史跡指定後も史跡整備に関係し、調査を継続していく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	郷土館保存事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 教育振興 計画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり		4 社会教育費
			9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	県指定有形文化財である旧西村山郡役所・郡会議事堂の保存を図るとともに、郷土の歴史資料展示施設として、市民の郷土学習活用を図る。
事業内容	(1) 郷土館の維持管理 (2) 郡制時代をテーマに資料館として一般開放 (3) 郷土館特別展「続・寒河江市の念仏講」の開催

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,990	補正額等		合計	1,990	決算額	1,943
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 県指定有形文化財である建物の維持管理 ・施設維持管理業務委託(10件) 1,501,805円 (2) 郷土館一般公開 4月13日～11月10日の土・日・祝日 (4月13日～6月2日桜・つつじ開花期開館) 入館者数 2,211人 ・小中学校郷土学習対応 10月4日醍醐小、10月10日寒河江小、10月30日寒河江中部小、9月12日三泉小、 10月16日柴橋小、10月22日南部小、10月25日三泉小 (3) 特別展「続・寒河江市の念仏講」の開催 9月20日～10月14日 郷土館2階大広間 入館者:231人 (4) 記念講演 9月20日 講師:市史編纂専門員宇井啓氏 参加者:40名 (5) 企画展「初代郡長海老名季昌・リン夫妻と新島八重」 4月27日～9月16日 郷土館2階大広間 入館者:1,744名

5. 事業の評価

電気保安点検など防犯防災に努めたことにより、県指定有形文化財である建物の維持を図ることができた。また、建物を郷土館として活用し、郡政期の生活と文化をテーマに常設展を公開し、県内外からの来館者のほかに、小学校の授業の一環として実施されている郷土学習に大きく資することができた。さらに、市史編纂専門員の歴史文化調査活動に依拠してテーマを決めた「続・寒河江市の念仏講」特別展には多くの来館者を集め、市民の郷土・歴史学習、慈恩寺国史跡指定推進に寄与した。市民の生涯学習機関としての機能を十分に果たしている。 つつじ祭りや桜の開花期に開館日を拡充したことにより、多くの入館者があり、学習施設としてだけでなく、市民の憩いの施設としても活用が図られた。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	郷土館の建物の維持管理に努めるとともに、引き続き企画展や特別展を開催していく。また常設展の展示についても展示品を入替えるなど工夫をし活用を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	歴史文化ふるさと回帰事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 教育振興 計画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算 科目	10 教育費
	1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり		4 社会教育費
			9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	市民の地域の歴史等に係る活動や事業に対し支援を行う。
事業内容	地域の歴史、伝統、文化、生活等に係る活動や事業に対して補助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,000	補正額等		合計	1,000	決算額	1,000
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>市民団体による次の4つの事業に対して、指導・アドバイスを行うとともに補助金を交付した。</p> <p>(1)白岩義民供養碑解説板設置事業 (補助金額 200,000円)</p> <p>(2)石造文化財稲沢新助石碑の整備事業 (補助金額 257,000円)</p> <p>(3)臥龍太鼓保存修理事業 (補助金額 543,000円)</p>

5. 事業の評価

<p>市民の地域に対する愛着を育み、他に誇れる地域づくりに資することを目的に4件の応募があり、それぞれの事業が完遂し、地域の期待に応えることができた。住民の地域に対する愛着が深まり、自信と誇りが芽生えるなど期待した成果が得られた。</p> <p>白岩義民供養碑解説板の設置は、市指定史跡「白岩義民の墓」について、分かりやすく説明を記したものであり、地域の歴史伝承に大きく寄与することとなった。</p> <p>臥龍太鼓保存修理事業によって、伝統芸能の継承や団体活動による継続的な地域活性化が図られるなど、十分な効果が得られた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>地域いきいき元気づくり事業との調整により見直しを求められているが、地域いきいき元気づくり事業では採択されないハード事業の受け皿として、この制度を残していき、住民の地域に対する愛着を広げ、地域づくりに繋げていく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	慈恩寺国史跡指定総合調査事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 教育振興 計 画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算 科目	10 教育費
	1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり		4 社会教育費
			9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	慈恩寺国史跡指定を目指し、慈恩寺文化の価値の裏付けとなる調査に取り組み、さらに県内外に慈恩寺文化の発信に努めていくことを目的とする。 ※ 県は、世界遺産登録推進事業を断念したことに伴って「山形の宝育成事業」を創設した。平成22年度から市はこの事業費補助を受けて慈恩寺を調査し、国史跡の指定を目指し、価値をさらに高めていくものである。
事業内容	(1) 慈恩寺国史跡指定推進委員会の開催 (4) 慈恩寺墓石・落書調査 (2) 慈恩寺総合調査報告書原稿作成 (5) 慈恩寺シンポジウムの開催 (3) 慈恩寺文化財調査 (6) 慈恩寺行事の研究

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,000	補正額等		合計	3,000	決算額	2,774
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 慈恩寺国史跡指定推進委員会の開催 期日:3月15日 会場:慈恩寺活性化センター 委員:27名 内容:これまでの取り組みの経過・今後の見通しについて説明。
(2) 慈恩寺シンポジウムの開催 期日:11月19日 会場:文化センター・中公ホール 参加者:150名 内容:「地域の宝を守り活かす」をテーマに、「慈恩寺の絵図を読む」講師:文化庁記念物課主任文化財調査官佐藤正知氏
(3) 慈恩寺行事研究会「中世寺院の仏堂と法会」の開催 実施日:2月8日 会場:文化センター・中公ホール「中世寺院の仏堂と法会」参加者:130名 講師:愛知県立大学教授上川通夫氏 「中世寺院の仏堂と法会」 講師:山形大学准教授三上喜孝氏 「寺院の仏堂と落書」
(4) 慈恩寺文化財調査報告会 実施日:6月21日 会場:慈恩寺活性化センター 講師:山形大学准教授荒木志伸氏 「慈恩寺の墓石」 参加者:30名
(5) 慈恩寺墓石・建造物・堂跡・本堂墨書等調査 期日:4月1日～3月31日 内容:関係遺構、遺物等の調査
(6) 慈恩寺修験行場の調査 期日:11月20日
(7) 図録 慈恩寺修験資料の発刊 400部
(8) 慈恩寺史跡指定範囲案内の追加地形図作成委託
(9) 事業広報紙「慈恩寺Times」の発刊
(10) 「悠久の里 慈恩寺」幟旗の製作と醍醐地区・関係機関への設置
(11) 慈恩寺総合調査報告書の原稿作成

5. 事業の評価

<p>慈恩寺の国史跡指定は本市のみならず県の期待でもあり、これに向けて適切に事業が実施されている。地元の支援組織である慈恩寺国史跡指定推進委員会を開催したことにより、地元の盛り上がりもあり、慈恩寺文化財調査報告会や慈恩寺一山の建造物調査・修験行場調査・地形図作成などもスムーズに実施し、総合調査報告書に盛り込むことができた。</p> <p>慈恩寺シンポジウムや学習会には多数の地元住民が参加し、地元の慈恩寺国史跡指定に向けた熱意を醸成することになり、慈恩寺文化財の調査が進み、国史跡指定に向けた展望が開ける効果を得た。その他、墓石調査、落書調査、建造物調査などで学術的に精緻な報告があり、好成果を得ることができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>慈恩寺が国史跡指定を受けた後においても、史跡の保存管理計画や整備計画を策定する上で、引き続き調査研究が求められている。また、慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画が策定されたこともあり、それらとの整合性を図りながら史跡指定内の慈恩寺文化財の保存・活用について事業を遂行していく。(H26予算 2,400千円)</p>

事務事業点検・評価調査書

1. 事業名等

事業名	教育委員会事務局管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 教育振興計 画	V 開かれた教育行政の推進 1 教育行政に対する関心、意識の高揚	予算科目	10 教育費
		項	1 教育総務費
		目	2 事務局費

2. 事業の概要

事業目的	教育委員会事務局(学校教育課)の総務一般に関する事務を処理する。
事業内容	(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事務 (2) 教育功労、叙勲等に関する事務 (3) 教育委員会の事務事業の点検・評価に関する事務 (4) 学校基本調査等各種調査に関する事務 (5) その他学校教育課内の庶務に関する事務

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,479	補正額等	83	合計	3,562	決算額	3,153
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃については、総務課法制担当と協議しながら調整し、教育委員会の議決を経て公布した。 ・規則及び規程の制定又は改正 3件</p> <p>(2) 教育功労、叙位叙勲に関する処理実績 ・死亡叙位叙勲 1件</p> <p>(3) 教育委員会が執行した事務事業(平成24年度分)の点検・評価について、その評価方法の一部見直しを行いながら実施し、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページ等において公表した。</p> <p>(4) 学校基本調査、地方教育費調査、学校施設台帳作成等各種調査事務を執行した。</p> <p>(5) 平成24年度末で市内の小中学校を最終勤務地として退職した教職員10名に対し、市長より感謝状を贈呈した。</p>

5. 事業の評価

<p>(1) 教育委員会規則の改正等、教育功労・叙位叙勲の処理、各種調査事務その他課内の庶務に関する事務については総じて適切に処理している。</p> <p>(2) 教育事務の点検・評価について、外部評価委員が直接事務担当者からヒアリングすることにより、より適切な意見をいただくことができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後とも事務の適切な処理に努めるとともに、教育事務の点検・評価については、さらにその方法に創意工夫を重ねながら施策への反映を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 教育振興計 画	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費
		款	2 小学校費
		目	1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	小学校児童の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、小学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	(1) 小学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理 (2) 小学校のパソコン室や図書室等特別教室並びに職員室等に空調設備を設置

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	123,844	補正額等	182,530	合計	306,374	決算額	291,461
(備考) 補正額等の内訳 H24からの繰越 166,002 補正 14,925 予備費 1,603							

4. 事業の実施状況

<p>(1) 校舎、体育館、水泳プール、グラウンド等の施設・設備の適正な管理と効率的な使用を図るため、当該施設設備の整備、営繕及び維持管理を実施した。</p> <p>① 施設・設備の保守等のための業務委託 ・警備保障業務委託 ほか 54件</p> <p>② 施設・設備の修繕 ・寒河江中部小学校防火シャッター修理 ほか124件</p> <p>③ 施設の整備 ・小学校空調設備整備工事(寒河江・寒河江中部・南部・西根・柴橋・高松・白岩・幸生・三泉) ほか 46件</p> <p>④ 施設の運営 ・各学校に施設の運営経費に係る予算を配当し、予算の効率的な執行を行うとともに教育環境の整備に万全を期した。</p> <p>⑤ 管理用備品の整備 ・児童用機のA版化への更新や椅子等を整備した。</p>

5. 事業の評価

<p>(1) 夏の暑さ対策として、パソコン室や図書室等特別教室並びに職員室等に空調設備を整備することにより、学習環境の向上と健康維持が図られた。</p> <p>(2) 児童用机A版化更新(2、3年生)を実施し、学習環境の改善に資した。</p> <p>(3) 寒河江小学校、柴橋小学校に太陽光発電及び蓄電設備を整備し、非常時における電力供給機能の確保を図った。</p> <p>(4) 西根小学校からの汚水を公共下水道に流入させるため、下水道設備改修工事を実施した。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	施設・設備は老朽化してきており、修繕等の必要な箇所が多くなってきているが、その緊急性や必要性を考慮しながら、計画的に整備・改修を推進していく。また、給食室の労働環境の改善を図るため、空調設備を設置する。さらに、児童の家庭環境の変化に対応するため、トイレの洋式化を進めていく。(H26予算 230,274千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	中学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 〔教育振興計〕	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費
		項	3 中学校費
		目	1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	中学校生徒の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、中学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	(1) 中学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理 (2) 中学校のパソコン室や図書室等特別教室並びに職員室等に空調設備を設置

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	51,213	補正額等	100,050	合計	151,263	決算額	140,832
(備考) 補正額等の内訳 H24年度から繰越 95,050 補正 5,000							

4. 事業の実施状況

<p>校舎、体育館、水泳プール、グラウンド等の施設・設備の適正な管理と効率的な使用を図るため、当該施設設備の整備、営繕及び維持管理を実施した。</p> <p>① 施設・設備の保守等のための業務委託 ・警備保障業務委託 ほか 22件</p> <p>② 施設・設備の修繕 ・陵西中学校暖房ボイラー美術室天井蒸気漏れ修理 ほか 49件</p> <p>③ 施設の整備 ・寒河江市立中学校空調設備整備工事 ほか 19件</p> <p>④ 施設の運営 ・各学校に施設の運営経費に係る予算を配当し、予算の効率的な執行を行うとともに教育環境の整備に万全を期した。</p> <p>⑤ 管理用備品の整備 ・生徒用椅子等を整備した。</p>

5. 事業の評価

近年特に顕著な夏の暑さへの対策として、パソコン室や図書室等特別教室並びに職員室等に空調設備を設置することにより、学習環境の向上と健康維持が図られた。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	施設・設備は老朽化してきており、修繕等の必要な箇所が多くなってきているが、その緊急性や必要性を考慮しながら、計画的に整備・改修を推進していく。また、生徒の家庭環境の変化に対応するため、トイレの洋式化を進めていく。 (H26予算 65,657千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計画	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費
			2 小学校費
			2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	児童及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	児童及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	18,500	補正額等		合計	18,500	決算額	17,815
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 児童検診			
① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診	2,395名	⑤ 尿検査	2,395名
② 耳鼻科検診	1,727名	⑥ 貧血検査	382名
③ 心電図検査	398名	⑦ 結核精密検査	2名
④ ぎょう虫卵検査	968名		
(2) 教職員検診			
① 一般検診 172名 (92.5%) (40歳以上特定健診 153名)		③ 胃がん(40歳以上)	134名 (87.6%)
② 大腸がん(40歳以上希望) 110名 (71.9%)			
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。			
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアルレルゲン)			
(4) ① 災害共済給付	144件 448,370円		
② 学校災害賠償補償保険金	3件 60,000円		

5. 事業の評価

<p>児童及び教職員の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 学校管理下での事故等に対応した災害共済給付金の対象件数は相当数に上るが重篤な事故等には至っていない。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>学校管理下での事故等を削減するため「学校安全計画」を見直し、安全に関する指導の徹底を図っていく必要がある。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計画	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費
			3 中学校費
			2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	生徒及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	生徒及び教職員の健康管理増進のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,332	補正額等	0	合計	8,332	決算額	8,156
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 生徒検診	
① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診	1,269名
② 耳鼻科検診	645名
③ 心電図検査	436名
④ 尿検査	1,269名
⑤ 貧血検査	1,110名
⑥ 結核精密検査	2名
(2) 教職員検診	
① 一般検診 92名 (96.8%) (40歳以上特定健診 74名)	③ 胃がん(教職員40歳以上) 52名 (70.3%)
② 大腸がん(40歳以上希望) 52名 (70.3%)	
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。	
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルギー)	
(4) ① 災害共済給付 398件 2,423,461円	
② 学校災害賠償補償給付金 5件 80,000円	

5. 事業の評価

<p>児童及び教職員の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 学校管理下での事故等に対応した災害共済給付金の対象件数は相当数に上るが重篤な事故等には至っていない。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	学校管理下での事故等を削減するため「学校安全計画」を見直し、安全に関する指導の徹底を図っていく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育振興事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計 画	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費
			2 小学校費
			3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、児童の適切な学習環境の整備を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	14,503	補正額等	0	合計	14,503	決算額	13,500
-------	--------	------	---	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。	
(1) 教材教具、図書等一般事業	12,303 千円
(2) 理科教育振興設備整備事業	1,197 千円

5. 事業の評価

<p>学習指導要領に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。</p> <p>楽器等の高額備品については計画的に一括購入を行い、効果的な教材・教具の整備を図っている。</p> <p>特に、理科教育振興法に定められた理科教育のための教材備品整備については、各校の整備率を基にした年次計画により整備を進めた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>学習指導要領に基づいた学習指導が適切に行われ、児童が効果的に学習できるよう、継続して学習環境の整備充実を図っていく必要がある。特に「さがえっこ育みアクションプラン」の重点目標である読書の盛んな学校づくりのため、図書整備の充実を進めていく。また、理科教育の推進のため、教材備品の整備に努めていく。(H26予算 13,872千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育振興事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 教育環境の充実・整備	項	3 中学校費
		目	3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、生徒の適切な学習環境の整備を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	10,399	補正額等		合計	10,399	決算額	9,854
-------	--------	------	--	----	--------	-----	-------

4. 事業の実施状況

学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。	
(1) 教材教具、図書等一般事業	9,287 千円
(2) 理科教育振興設備整備事業	567 千円

5. 事業の評価

<p>学習指導要領に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。</p> <p>楽器等の高額備品については計画的に一括購入を行い、効果的な教材・教具の整備を図っている。</p> <p>特に、理科教育振興法に定められた理科教育のための教材備品整備については、各校の整備率を基にした年次計画により整備を進めた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>学習指導要領に基づいた学習指導が適切に行われ、児童が効果的に学習できるよう、継続して学習環境の整備充実を図っていく必要がある。特に「さがえっこ育みアクションプラン」の重点目標である読書の盛んな学校づくりのため、図書整備の充実を進めていく。また、理科教育の推進のため、教材備品の整備に努めていく。(H26予算 10,110千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	情報教育推進事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計 画	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	情報機器やネットワーク機能の活用指導を通じて、情報化社会に対応できる人材の育成を図る。
事業内容	小学校における情報教育を円滑に行うことができるよう、パソコン機器や電子黒板の整備、充実を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	18,103	補正額等	△241	合計	17,862	決算額	16,305
-------	--------	------	------	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校のパソコン機器等のリース契約を継続し、周辺機器を含めた修繕等へも対応した。 児童用パソコンの配置台数 ・寒河江小35台 ・寒河江中部小35台 ・南部小35台 ・西根小33台 ・柴橋小32台 ・高松小35台 ・醍醐小20台 ・白岩小25台 ・幸生小9台 ・三泉小25台 合計284台 ・放送教育研究会の指定校に電子黒板機器を導入した。 ・柴橋小2台

5. 事業の評価

<p>全小学校のパソコン機器等のリース契約を継続して計画的に情報環境を整備しながら、情報機器の有効で安全な活用のための情報教育を進めている。 また、平成25年度は、柴橋小が放送教育研究会東北大会山形大会の指定校になったため、電子黒板機器を導入して情報教育の充実を図った。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>パソコンの定期的な機種更新及び高松小・柴橋小を除く全小学校への電子黒板機器の導入を行い、情報教育の推進を図っていく必要がある。(H26予算 18,194千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	情報教育推進事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 3 中学校費 3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	情報機器やネットワーク機能の活用指導を通じて、情報化社会に対応できる人材の育成を図る。
事業内容	中学校における情報教育を円滑に行うことができるよう、パソコン機器や電子黒板の整備、充実を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	9,140	補正額等	△225	合計	8,915	決算額	8,687
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>各中学校のパソコン機器等のリース契約を継続し、周辺機器を含めた修繕等へも対応した。</p> <p>○ 生徒用パソコンの配置台数 ・陵東中37台 ・陵南中42台 ・陵西中35台 合計114台</p> <p>放送教育研究会の指定校に電子黒板機器を導入した。 ・陵南中3台</p>
--

5. 事業の評価

<p>全中学校のパソコン機器等のリース契約を継続して計画的に情報環境を整備しながら、情報機器の有効で安全な活用のための情報教育を進めている。</p> <p>また、平成25年度は、陵南中が放送教育研究会東北大会山形大会の指定校になったため、電子黒板機器を導入して情報教育の充実を図った。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>パソコンの定期的な機種更新及び陵南中を除く全中学校への電子黒板機器の導入を行い、情報教育の推進を図っていく必要がある。(H26予算 7,292千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた学校づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計	2 教育環境の充実・整備		1 教育総務費
			3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	陵西中学校に在籍する幸生、田代地区の生徒の通学等を支援し、就学機会の確保に資する。
事業内容	スクールバスの運行业務を市内タクシー会社に委託し、幸生、田代地区の生徒の送迎を行う。 また、白岩小学校に通学する田代地区の児童及びしらいわ保育所に通園する幸生、田代地区の幼児の送迎を行うとともに、小中学校の校外活動及び陵西中学校の部活動の交通手段にも活用する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,430	補正額等		合計	5,430	決算額	4,351
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 利用者	: 陵西中学校 9名(幸生地区 8名、田代地区 1名) 白岩小学校 5名(田代地区 5名) しらいわ保育所 8名(幸生地区 8名)
(2) 運行状況	: 陵西中学校、白岩小学校及びしらいわ保育所への送迎(延べ438日) 自然の家での体験学習や公共施設の見学学習など校外活動等の利用(延べ88日) 陵西中学校の部活動等での利用(延べ28日)
(3) 運行車両	: 1号車、2号車とも平成23年度に更新

5. 事業の評価

各学校からの校外学習活動や部活動に関する利用拡大ニーズが増えており、それに対して可能な限り対応するとともに、宮内、上野地区の生徒の冬期間送迎にも活用するなど効果的な運用を図った。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各学校の校外学習活動等が年々増加しており、それに対して可能な限り対応するとともに、通常の送迎業務において更に安全で快適な運行がなされるようにしていく。

寒河江市振興計画 重点プロジェクト事業

事業名	「さがえっこ育みアクションプラン」の 策定・推進	事業推進 関係課	学校教育課
			生涯学習課
			子育て推進課
市重点プロジェクト	(1) 「さがえっこ」すくすくプロジェクト		

事業の目的	学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら互いに連携し、生活リズムの確立や道徳心の向上、学力の向上、読書活動・食育の充実など、子どもたちの生きる力を育むための取組「さがえっこ育みアクションプラン」を、市民全体で推進する。
関係事業とその概要	<ul style="list-style-type: none"> ○さがえっこ育みアクションプラン推進事業(推進本部の設置、学校支援地域本部事業の実施) ※ P33参照 ○いのちと心を育む学校づくり支援事業(各学校における具体的取組の展開) ※ P34参照 ○読書の盛んな学校づくり事業(各学校の読書活動推進のための読書活動推進員の配置) ※ P24参照 ○社会教育活動事業(小学校を会場とした「子育て講座」の実施) ※ P20参照 ○学級講座開設事業(幼稚園・保育所等を会場とした「家庭教育講座」の実施) ※ P13参照 ○読書普及事業(「ブックスタート事業」の実施) ※ P27参照
事業の実施状況	<p>【推進本部の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回の会議を開催し、推進方策を検討 ・取組の指針となる「さがえっこの育み10か条」の啓発のために、ポスターを500部作成し、市内の全小中学校、幼稚園・保育所、各公民館・分館、医院や事業所等に掲示 <p>【学校における取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのちと心を育む学校づくり…各小中学校で、家庭・地域と連携した特色ある取組を実施 ・読書の盛んな学校づくり…読書活動推進員5名を配置し、各学校で計画的に活用 <p>【地域の教育力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部…小中学校13校に「学校支援地域本部」を設置し、学校支援ボランティア活動を展開 学校支援ボランティアの総数 1,970人(23年度: 1,310人、24年度: 1,623人) <p>【家庭の教育力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て講座…小中学校9校で実施 参加者: 798人 ・幼児共育ふれあい広場…保育所5か所で実施 参加者: 241人 ・家庭教育講座…各保育所、幼稚園などで実施 参加者: 1,258人 ・ブックスタート事業…3か月健診時に、本とのかかわりについて、母親を対象に実施 参加者: 313人

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
今後の対応等	推進本部による事業の啓発(リーフレットの作成や、各種広報活動、さがえっこ育みフォーラムの開催)		
	「いのちと心を育む学校づくり」の実施(各学校における取組の重点化と、家庭・地域との連携の推進)		
	読書活動推進員の配置(5名)による学校読書の推進		
	地域コーディネーターの配置の拡大		
	「子育て講座」・「家庭教育講座」の実施		
	「ブックスタート事業」の実施		
	<p>実施3年目として、「さがえっこの育み10か条」をポスターの配布等により周知・啓発を図るとともに、今年度は市内すべての小中学校・幼稚園・保育所等で「あいさつ」「読書」「生活リズム・食育」の3つを重点項目と定め、家庭や地域を巻き込みながら市全体で取組を行った。食育については、国の委託事業「栄養教諭を中核とした食育推進事業」を受け、市全体で組織的に食育の取組を展開してきた。子どもたちの生活の土台が安定することで、生活全体の向上につながる成果が見られた。</p> <p>市振興計画における市民100人委員会の評価は、5段階で、「現状の満足度=3.48(昨年度:3.53)」、「今後の重要度=3.83(昨年度:4.00)」と、ともに昨年度よりも数値がやや下回る結果となった。</p> <p>すべての市民に「学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育む」ことの重要性を認識していただくことが本事業の目的であり、今後、「さがえっこ育みフォーラム」の開催等、効果的な周知・啓発を行っていくとともに、本部での重点を決めた取組の実施により、より多くの市民から重要度の高い事業としての認識がさらに得られるよう、推進していく必要がある。</p>		

寒河江市振興計画 重点プロジェクト事業

事業名	慈恩寺国史跡指定総合調査事業	事業推進 関係課	生涯学習課
			さくらんぼ観光課
			建設管理課
			政策推進課
市重点プロジェクト	(3) 慈恩寺「悠久の魅力」向上プロジェクト		

事業の目的	慈恩寺の国史跡指定に向けて取り組み、慈恩寺の価値について情報を発信するなど、貴重な慈恩寺の文化財を総合的に保存し活用を図る。
関係事業とその概要	<ul style="list-style-type: none"> ○観光案内機能を併せた休憩施設の整備など慈恩寺の魅力を堪能できる受け入れ体制の充実 (情報観光課) ○市民とともに慈恩寺地区の景観計画を策定し、歴史的、文化的景観の保全・形成に取り組む。 (建設管理課) ○慈恩寺に関連する既存組織を活用し市民を加えた「慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画検討委員会」を開催し、慈恩寺地域の文化、観光、産業振興に向けた計画策定に取り組む。 (政策推進課)
事業の実施状況	<p>【慈恩寺国史跡指定総合調査事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 慈恩寺国史跡指定推進委員会の開催 期日:3月15日 会場:慈恩寺活性化センター 委員:27名 内容:これまでの取り組みの経過・今後の見通しについて説明。 (2) 慈恩寺文化財調査報告会 実施日:6月21日 会場:慈恩寺活性化センター 講師:山形大学准教授荒木志伸氏 「慈恩寺の墓石」 参加者:30名 (3) 慈恩寺修験行場の調査 期日:11月20日 (4) 慈恩寺墓石・建造物・堂跡・本堂墨書等調査 期日:4月1日～3月31日 内容:関係遺構、遺物の調査 (5) 図録 慈恩寺修験資料の発刊 400部 (6) 慈恩寺史跡指定範囲案内の追加地形図作成委託 (7) 慈恩寺総合調査報告書の原稿作成 <p>【慈恩寺文化の広報・発信事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 慈恩寺シンポジウムの開催 期日:11月19日 会場:文化センター・中公ホール 参加者:150名 内容:「地域の宝を守り活かす」をテーマに、「慈恩寺の絵図を読む」 講師:文化庁記念物課主任文化財調査官佐藤正知氏 (2) 慈恩寺行事研究会「中世寺院の仏堂と法会」の開催 実施日:2月8日 会場:文化センター・中公ホール「中世寺院の仏堂と法会」 参加者:130名 講師:愛知県立大学教授上川通夫氏 「中世寺院の仏堂と法会」 講師:山形大学准教授三上喜孝氏 「寺院の仏堂と落書」 (3) 「山形の宝」地域のシンボル育成事業報告「地域の宝を守り活かす」の刊行 3月31日発行 300部 市内外関係機関等に配布し、慈恩寺文化の広報に資した。 (4) 慈恩寺国史跡指定推進広報紙「慈恩寺Times」の発刊(隔月)醍醐地区全戸配布、他は町会回覧 (5) 「悠久の里 慈恩寺」幟旗の製作と醍醐地区・関係機関への設置

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
今後の対応等	慈恩寺文化財調査、総合報告書作	国史跡保存管理計画策定		国史跡整備
	慈恩寺シンポジウムの開催、慈恩寺学習会の開催			
	慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計	計画に基づいた事業実施		
	<p>慈恩寺国史跡指定後の保存管理計画、それに続くの整備計画の策定を見据えた事業の展開が必要である。</p> <p>市振興計画における100人委員会の評価は、5段階で満足度が3.47、今後の重要度が3.80で前年度に比べ満足度が0.02増加したが、重要度が0.20減少したが、昨年に引き続き市民の高い関心を集めている。国史跡指定後の諸計画策定を進めるとともに、あわせて市民に周知を図り、市民の関心に応えることが肝要である。</p>			

寒河江市振興計画 重点プロジェクト事業

事業名	「屋内多目的運動場」の整備	事業推進 関係課	生涯学習課
			商工振興課、さくらんぼ観光課
市重点プロジェクト	(7) 「さがえはつらつ」プロジェクト		政策推進課
			農林課

事業の目的	冬季においても屋外型スポーツが楽しめる施設整備を進め、市民が年間を通じてスポーツに親しめるまちづくりに取り組むとともに、イベント等での利活用も視野に、市内外から人が集う交流拠点施設としてにぎわい創出を図る。また、災害時の支援物資保管施設としての機能を整備し、物流の拠点施設として位置づける。
関係事業とその概要	
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 冬期間の利用開始に向けて整備を進め、12月に完成した。 ② 1月から指定管理者による運営管理を実施し、H26.1.12にオープンセレモニー、記念講演、少年野球教室を開催した。 ③ 親しみやすい施設として愛称を募集し、審査の結果「チェリーナさがえ」に決定した。

